等の整行が行はれた 正要の整備隊が燃々しく で勝然の氣たよよる朝護を衝き画一でに指き液められ各更所

御警衞機關總出動

完プ

御道筋はいっないま

幸极



縣 武 村 本 人行數 治代喜本橋 人輔楊 生 順 。里 南 人嗣印 地番一卌町園公東市達大

社報日洲滿社會式株所行數

陛下に、野島艦 御機嫌麗」 より表敬 しく拜す

浦岗

協議の結果、今夜御 構物に御迎へし、植 横づけてる。 がが、一般を表

瀬十五衛年記念機で係を開催する 時から大連電気遊園に於いて創化 時から大連電気遊園に於いて創化

周年記念祝賀

人連新聞十五

地方長官會 來月三日 藏

賀屋主計局長

間長費屋興宜氏は約十

府通過延 查局官制案

情保止氏(陸軍省建築課長) 同足離氏(ポルトガル特命全 回果離氏(ポルトガル特命全 甲子辭氏(陸軍主計少佐)

中中佐(開東軍交通部々中中佐(開東軍交通部々中佐(開艦新京駐在理事)

調査官選任に

●農武雄氏(滿端經訓書新京駐 ・ 金野東)同上制任 ・ で紹事)同上制任 ・ で記氏(瀬州國泰議)同止午設 同上、て 諸任 ・ はとにて 諸任 蛇角 よしって、

ではいます。 ではいまして、食卓の前にきちんと いってるた。 を関かすきょったと云ふやう もうニュースの時間 跳つてゐらつ

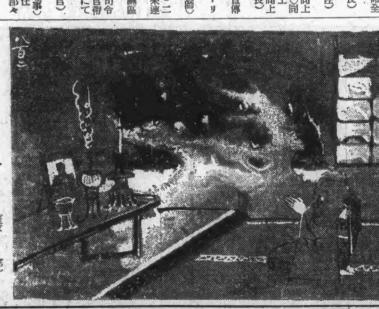
河州関島市医下には今夕、八重河州関島市医下には今夕、八重

釈意史上の御像業。「呼げば算し、日

の影響はあったが、無様はしづかの影響はあったが、無様はしづか 家の前にとまる音がした。女中と九時ちかくになつて、自動車が さな包みをからへて入つてきてると、母が小

て、お腹がすきょつたと云ふやう 頃の明子なら、顔が離れて継ばもなかつた。 ならべられたが、母はまだ節つて 明子は一人食草の前で継ばをひらならべられたが、母はまだ節つて 明子は一人食草の前で継ばをひら





近く締結さる 關稅統制の妥協好望

運命的な(二)

橋本八百二繪

原六

「お野走みんな合えてしまつ」

愛戀上

丁字街

(52)

暇満朝中の駐ボルトガル公乱 各地を視察し二十六日出帆挟桑丸日間に亘り泰天、新京、哈爾濱の

長節祝賀會に

▲林博太郎伯(河麓郡波)二十六 日人郡ららる丸で勝連 ・ 西脇駿道氏(河鐵松書保負)同上 ・ 島崎耐馬氏(同)同上 ・ 島崎耐馬氏(同)同上 がら、夕食の支度にからつた。

丁條はせな 凡は分のの

日葡新通商條約

一、別想問題及び之に欄する政府の方明徴、政政制新の徹底。

横濱復興記念博(目下開催中

正十周保司氏(献附中央第行担 等)同上 → 海川泰雄氏(同文常源長)同上 → 原川泰雄氏(前東大連丁場核香 - 課長)同上新京へ 司氏(滿洲中央銀行理

上海

▲濱崎眞二氏○元棡俱野球部主府○
今回四平街南五條通三二ノ六に 止氏(横洲工廠解四)同



對滿投資行はれん

4相、外相も來滿

けふ歸連一林満鐵總裁談

北鮮航路の

関の際の日瀬日和を野部で、御さばれ、明日は晴れの強烈。御

欧洲の風製はアメリカの取品に

は雨、塞天は雪、大連は黄鹿っ折病、生僧くの天候異態、新

國策決定後

すまい、顔をめ来おに急至大ひせ

頭の豫行 件警衞に 當る 佐警務部長談 概率迎のため大 ル よる不正手段を弄する者顧出する機嫌に大連水上書でも不選支があるる不正手段を弄する者顧出する機嫌に大連水上書でも不選支が

製成庫を布いた

透影部は二十六日早朝復殿歌祭験

雅子窩署員一行

努めてるが、同意

署に於ても依然整備の手を緩めず

應援のため

一般に配ってるる 関ロ通常

化粧品盗まる

れば、腋鷹は黴癜

桃色禍の谷本氏

遂に懲戒處分

州辯護士會では除名

受診中盗まる

女患者の受難

見、公司順では順張してこれが防

偽造許可證で

復縣襲撃後匪賊團勢を増す

雅子窩署 管內、

州境の大警戒

未明瀬州圏皇帝陛下御来阪のため

||本院第二小院寺田巡査及び秋

大襲撃の情報

人滿の苦力激増

水上署徹底的に取締らん

便職大蔵區地方を襲撃した徐九州の職子高電話』二十四日拂嗣突如

部では外客

船縄快の豪華船及郷戸内海属光 郡奈良と京都(二)日本祭(三) 郡奈良と京都(二)日本祭(三) 古都奈良と京都(二)日本祭(三) 古の日本の三本以外郭耐及商

天津から旅行團出發

七日が土曜日で二十八日は日

同に到達し七四〇ミリョしてのたと四二ミリョンで申十一時に通過して午前十一時に

あすは晴れやう

・・新京る温度下降

郷に回復するものと見られてゐる正に花盤り、二十八日頃からは次 模様であるが、二十七日 奏から雪へ 不氣味な奉天

奉天は雪、奥地は雨、そして

はガスと黄塵

●天は、二十六日朝来郷雨と動つ 【●天皇話】1111日来東郷日和の 皇帝御歸還の

一十七日は南西の鷹となり天氣となり、 南から西に壁り徹底も下側して居 が 南から西に壁り徹底も下側して居 が 南から西に壁り徹底も下側して居 が 南から西に壁り徹底を見せるだらうが 機能からは高野皮養能士が出場す

神田六段雕連

滿洲國代表入京 備道大會出席の

楠公大祭奉納

五月二日より神戸海川戦闘道県に 『東京二十六日銀國通』 鑑賞大会 お前の試合が行はれるが出版者称 つた、一行は第二十九風孔子祭そ 野節の試合が行はれるが出版者称 つた、一行は第二十九風孔子祭そ 野節の試合が行はれるが出版者称 つた、一行は第二十九風孔子祭そ 田離の満洲國代表一行は二十五日 田離の歓迎である

夜深更を期

軍官學校生一行

出來上る迄の過程を見事の後、本社を登録、新聞が印刷されて

花卉盆栽展

初めて海を見る

のため同校日彩劇員十名に引撃される場所を乗力艇大方威砂見敷育で乗力艇大方威砂見敷育で大連に到り一泊、電子の一般十三百巻成を見なまれる。一十日底順港内見撃の一部の一部十三百巻成を見なまれる。 廿八日見學に旅大

医立然へも外一名の所属と眺み直に 一般繁寒節では散彫椒生れ佐 一般を発酵では散彫椒生れ佐

でま時二十後午・・・りよ時一十前午

愛婦街頭へ 郷を張り迎人逮捕に

門八時から午後四時まで飲百名四州人會大連支那では二十七日 震災義金募集

記〉日間・『等』と 観音を離すこととなった。多数音 同窓生加藤武男氏を迎へて二十 會の懇親會東北學院同窓

報序跃 風の西北 (日七十二)

軍犬十五頭が

市核並區軸戶町一一七冊一

をこの参数をバスした倒し重大にでこの参数をバスした倒し重大にでこの参数をバスした倒し重大にでこの参数をバスした倒し重大にでこの参数をが乗ったれる事になつてるるでは関がかれた場合である。 一般でを見せる此

八日軍犬協會の總會

六三九四五四八八時

十八日

●三中金巾·天竺 (私院)

科會美術 講演

今夕六時半から協和會館で

リーデングヒツターに

輝やく優勝盃

山内電々總裁が寄贈

態勢たる新線の装ひ籠 して水面にも青葉若葉 球場改造完成 大連實業團の

クは自然の流れの間に トに小さい彼較を で従来の動員職を左の如く受更しを行って居たがこの極完成したの びに無水崩ಪ及び脈蜒底の新設 負席無更さる 後援動では一

その総を挟しく電す館

の無り吹えて・

腕に関いて形のウキン

5

浪華洋行へ必ず

H

は

B

お出掛け下さい

春の御仕度日もいよ

あご一日間です

集することとなった

T

0 月 火 水 木 金

21 22 23 21 25 26 27 28 2 30

9 10 11 12 16 17 18 19

2

经利十年

8

14 15

廿八日まで

開催

取り逃走、犯人捜査方を順ひ出た一口一面を何者か家人悪睡中に抜き四十面を何者か家人悪睡中に抜き の歌にさへ彫かな水酸 に意思のやらにコピリ 間に、草原の花の如く らざる機能がレンズ

川崎の强盗殺人 片割れ逮捕さる

厳戒中の大阪驛前で

| 本書: | 本書

『東京二十六日發團通』去る二十 男大和田元章("m)であること物明日午前三時後川崎市大島五八○怖 直にこれを神奈川幌監察部に通歴の湯こと移島眞子("m)万に主人不 した、脚ち同人は去る十八日上野 であること物明

知合ごなった直に展

心臓平の螺栓鼠薮雄Cwoの五名

議型ボクシングと手気で包んだ 器質ボクシングと手気で包んだ

る過ごしたので大阪所が終訴されたもので主狐佐侯は 展育用成度と
一、棉實外約百二十車
一、棉實外約百二十車

見込みをつけ水

日

報廣告部電二四四九

一番

参列徽章

昭和十年四月二十六日

大連鐵道事務所

日奉迎場所

シ春迎仕度候間左記領了承ノ上御参列相成度御寒内申上候明二十七日満洲岡皇帝陛下御歸國被遊筷。就テ、當路御通過三際明二十七日満洲岡皇帝陛下御歸國被遊筷。就テ、當地復通過三際

愛國婦人會々員ニ告グ

二十七日まで

田 ワキ的連 田中 本繪訪小 セ羽 紋 間 一々 着 諸名型名學9 電 古 古 服

店

名物にうまいものあり林 洋行の羊蓋 大山通道 泽行亲辅

●三河帯芯二本 六十五銭均1●レーヨン友仙(大中七尺やく)六十五銭均1 がを 1 城



ア超特件。ますらを

中央映畵館次週上映

ルの意

がない」

だが、暗呼がは、客が倦まぬう

近からう、長い暦毛

伍東、里見の

別の開催に東宏郎、里見の下に「大衆文態物語の」

が、降へ近くを行 (194)

「酒はのむかし

「眼はすこし

主・子みす島栗 演・子弘 崎川

演動子編川音・武本版・美内山・詩務抒奏構の理論さし奇、境影論の音種切痕敬極の奏情人、幹の愛恩 木葛・勇口山・一新守日・子節忍・門衞右太右川市

頭

1=

効良

六十錢

じん以上の感激篇 ンキー・サウ 川ルン演主

◎小型リー 型等進呈

分は忽ち責切れ第二回の

度號(定價全拾六圓)初回輸入の

数到着致しました

國産コントロー (コンナロ ル新製品彫刻入五個抽斗) ルミシンは『何故良いか』

同同出資本 山 張 所店店

哈新奉大大葉

濱梅浪市市洋

^{遺枝通速濃}行

爾京天連連

七ケ速浪信

離帝 y 國

煙 中山●安兵衞●

錢

特

優別味 爽やかな

ママレード ハタ



フラン

日本版



待 望 映畵 0 「未完成交響樂」 K

ダ (10四0) 類唱 日活館上映中四月二十五日より

•甘井子 方 " 面 無料配達 ラ 陳 仕 候 列

會

ミシンのデパート(どんなミシンでもあります)

大達信濃學一四五 電二六六八四番

大連市 大連市 大連市 大連市 大連市市 大連市市 大連市市 山

して映畵を御覽下

ゼヒ御聽き下

交

京東 中 七日 製力 浴

地 發新 表柄 上海は恐慌狀態

慌状態に降らしむるであら

總局の消費四合設立に開する

局、副州州野中で

天井知らず

② では下東京院在のソ販道商代 なく取にその談音報告書に覚見を ・ 本では下東京院在のソ販道商代 なく取にその談音報告書に覚見を ・ 中国日来朝したキセリョフ氏等ソ 取物資品間を現地にあつて破壊離 ・ 本では下東京院在のソ販道商代 なく取にその談音報告書に覚見を ・ 本では下東京院在のソ販道商代 なく取にその談音報告書に覚見を ・ 本では、一であるが、「離音版の目的は事ら受 ・ 本では、一下東京院在のソ販道商代 なく取にその談音報告書に覚見を ・ 本では、一下東京院をおります。

銀買上政策の 緩和を要請

要氏はコートーを展覧となるであらう 火災生命保険 滿洲視察團

に増査

「東京二十六日穀園通」火災保険 変動では二十五日海上ビルに窓例 変動では二十五日海上ビルに窓例 変動では二十五日海上ビルに窓例 変動では二十五日海上ビルに窓例 変動では二十五日海上ビルに窓例 変面を釈迦し先殿來西工省より動 増加、五子五凹 社僚 夢樂を 決定 方 の では二十五日本上ビルに窓例 で加えているる が一次保険 変数で形で、資本金を二個国に 本 の では二十五日本上ビルに窓例 で加えている。 では二十五日本上ビルに窓例 で加えている。 では二十五日本上ビルに窓例 で加えている。 では二十五日本上ビルに窓例 で加えている。 で加えている。 では二十五日本上ビルに窓例 で加えている。 で加えている。

ソ聯調査團は

ハ箇月間滯日

基礎調査が目的で

購入決定の権限なし

営ロ驛の棉實火事に が今回の火災によって一般にいて戦後策を 滿鐵は損害賠償

一銭を支出、左の内隷に でに耐失貨物に減し援 るので演奏としては前 るので演奏としては前 也三月末迄に合計六十三萬三千 活況を呈す

出機権の傾向にある際、機械管

へて貨物職・扱っに就いて協議する ・ では、 を記してのでは、 のでは、 のでは、

電業公司移

合理的販賣機關を設け

新設消組を阻止。

全滿商業團體聯合會の決意

反消運動の一進展

國幣發行高

大連の白米 銀行、大連における 小賣値保合

0

電水鉄新五条 五 銘 水新鮮豆品柄◆ 引中寄 ◆ 前 | | | 1 | 1 | 5 | 5 |

州(單位十

間此段御通知恵

永 于申後々

加

で五十三分永眠致に加療中の處薬石に

仮無

設文を可決し、二十六日午前十時に付き傾置討議を重ね左の如き決

單純化されるのが

海洲商社のマーク…

墨してゐる(〈各四十三瓩入一队小類植標準左の如く前旬來保合を

九二0

定期晚合高 (世四日) 大豆 六三六〇軍 一四五車高梁 一〇七二車 △一九車豆粕一七五百粮 二五百粮豆粕一七五百粮 二五百粮 二五百粮 二五十七日)

幸福潇

オ 福 本 公 司 ま字記配せ・電田の代と できを眺めて當市は小口の手仕舞付きを眺めて當市は小口の手仕舞

大連が外土地會社 家賃で家を建てませう 切

職約募集中の記念特典付土地 関約もれの方々の爲め更らに 第二期計畫に着手致しましたが 原の内なれば多少の設計變 更も應じ度いご思ひます で、お早く御申込み下さい

軍事公 債

近

- 語價買入

徽花造 O

迎 五五九三表代話聞題呈送表信仲及科賽考書

二十五日左の如一五日を回通しそ 銀價一弗二十九仙に達するか 金保有量の三分の一に成る迄 米財務長官の聲明

の氏名

ソ聯調査團

奥地天候不良で

休日明け特産市場崩る

日蘇貿易の

京特電二十六日製工北海

標子勝貫力の増加は一片

・ 一 横原型八銭と低級した、 大豆、豆斛は飛騰よく買ひ 大豆、豆料は飛騰よく買ひ

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

施公使國務卿を訪問 分の一に速する芝羅機する方針 高が金額に於いて金保有高の三 同時に夾月十五日新京に集合するに運するか、又は政府の銀保有「外二、三名が生命保険戦の獲済と

日產二億圓

際人を設一行八名は二十

英の綿業貿易策

委員會討議の内容

タマ版定及び英田通商版で の中職業貿易委員任館の版 等の議項目の如く権係され

市

泥(井六日)

一般 鈍

出来高(知近四百全高五千四 ・現物前場へ電位銭) ・現物前場へ電位銭) ・最新金銀粉洋金粉洋 ・時三台 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・164 75 21 11(20 450 ・165 75 21 11(20 45

調

總計十八萬一千圓 對支砂糖輸出 六、〇四六國

々たる顔觸れ 五月來漸シンヂケート 銀行團滿洲視察團

三八四五

大連却相場(二十) 東灣西瓜(は最級期に入り 東灣西瓜(は最級期に入り 原調な出題りを示し昨日三百卅個 原調な出題りを示し昨日三百卅個 の入荷あり好時期で入氣良く不動 南瓜(は卵々の入荷にか」は らず下押し商狀、 生姜(は入荷少量に製動なく 生養は出題別に入つたが昨日は 大した散境なく保合相場 ルロ山姜、先頃品種に品棚 を製け土國森を持つたが以後ジリ を製造る

大大大大大 一世 | |

御召艦は豫定通り岸壁着

御召艦 能法衛公

艦内に最後の御

しの職士、演洲の大女職大連に御職

運遊ばされた、去る本月二日朝首都新京を領

御召籃比談に奏御、御雕瀬遊ばされてより並に二十五日間

遙けき潮路御恙なく

昨夜深更大

(連に御着

皇帝陛下御機嫌麗

元邦盟の還歸御・迎奉

五月一

且に利害を超越した 友好關係を保つべきことは 今や日漸兩國民の間に無言 配代表、三日には全漢各地の官民代表の懇談會をそれら、開催、同じく日期職の思 各兵艦等及び總領事を新寮に集めて日瀬鵬傑の強化について一場の訓示を奥へることに決定、更に二日全海新

日蓮で可分の騰保を一般の日瀬民衆に乾底院に夜職せしめる上に野大な影響を除下御 歸還 三共に日浦 兩國に於て開かれるこれ等の動合管 區司令官、公署長、總務廳長等の 龍で何等か具態的な影談が主義職変離の儲しをするが、この日蓮で可分離際の再認識 徹底化につ

來月十五日全滿一齊に

一番バースにその 陸の鯨一がを取せられるのである。 一番バースにその 陸の鯨一がを取せられるのである。 一番バースにその 陸の鯨一がを取せられるのである。 一般十一時半無事線 よくも暴露と下にはこの側一夜を照しつよ側召遣は 長くも暴露と下にはこの側一夜を

熱誠なる。御歌迎のこととも

とも大きい悪いである。これは

主要都市の 人口調查

康徳二年度に

號外發行 李浩二十

年度登集に批上した右は本年度登集に批上した右は本年度登集に批上した右は本

であるとは不可解▲しかし物が実験問題の解

の國の發達援助 關係を强化し 日南司令官宣明

日満官民 に我等の意のある ところを傳へ、併せてこの情報 的盛館の最後まで一致婦力を置 が成立を

陸軍留學生

交換開始

獨政府各國ご

長岡總長談

| 「一郎氏は三浦行

奉迎に上京

滿洲國要人連

能定事動として各国歌形との間に上、各国の末級を使たず高歌脈を

に投じたが、東中部書に融る 取引所聞着かれ、あれば君却々 歌引所聞着かれ、あれば君却々 歌引所聞着かれ、あれば君却々

ル 【希京電話】歌州國内各省長、各町近く上京の建定である

なったが、影響を住を交換す

瀬融和の一體を痛切に威ぜしめるものがあり、 瀬州開放 の制約日は日前國交史とに、東かしい配像を印したが日本教野を撃げての制製 これを徹底さしめて日満帰係の既認識を行ひ日瀬不可分の電大騎侠を一層明御 整明書の中にも其の意味が高端され今後日満開係を一層整理ならしめ、同日

市、養公養、解除公養所在地で

でに就しては感謝の群なきも動ゆるのであります。 昨下今度 では上は悪くも実老の側数ボより下は津や減くの人民に至るまで脈を撃けて示されました図るる如き態態に致して皇帝経 まで脈を撃けて示されました図るる如き態態に致して皇帝経 でに対しては感謝の群なきも動ゆるのであります。 昨下今度

雲南の首都

昆明危し

の御行事の御成果が日衛南帝國を結ぶ記き候となり其影響す

八千は十五日突如郷州霊南省県の地版に遊った。東に南道とで二十二日ごとには東南省首都民明を座る二百古には東南省首都民明を座る二百古には東南省は一十二日ごと

等三千萬也氏の地しく微微に皆へぬ所であります。

建下今度の行業が順古の御経事であらせらるることは物域

皇帝生下には二旬跡に重る御多艦なる御日程を御滯ほりな

國務總理大臣 鄭孝胥謹話

皇帝陛下奉迎

陸軍當局の意見

萬の國民の行為を敗戦

人時三十分大連海外着像定 ・ 大連海外着像定

本日十六頁(路)

は威謝の行事

供奉艦山野、景野、海

大連御發

路國都

御歸還

團結力 れたる おいて痛感 軍司令官談



わが國民の

今回の御盛儀に

制防日のニュース映画及び新生

電別の個質のみに付明しましても御見覧を願め個智鵬を深う せられ戦像御瑜戦の上に一般の御工夫を添へさせ終ひたることと黙懇鋭し然電戦離に破へぬのであります。

我等三千萬臣民はこの際典を永遠に記念し日満階依留の称 現の戦心増進に寄興する所なかる前らざることを解説数しま す。是れ既ち内、陛下の感寵に報い外、職親の敵心増進に寄興する所なかる前らざることを解説数しま す。それ既ち内、陛下の感寵に報い外、職親の敵道に節ゆる 所以でなければなりませね。 5 5 3 の比率は

に不放棄 米海軍委員長言明

の部堂の完璧を知するもの●長尾吉五郎氏(民政部中央総の完璧を知するもの●長尾吉五郎氏(民政部中央総の上の一世)■上来連



れた▲のみならずる

(下)同南門外の龜裂地表

奉天、哈爾濱(二)

殿同氏がとれに内定したといはれ下渡日の途にある現北寧歌略局長

訪日の目的は

揺かれて湖月へ向つた

とたき記を報出で誤解を求むる所 とたき記を報出で誤解を求むる所 感は間下のところ際壓動出壓り出 感は間下のところ際壓動出壓り出 ある、なは同支配長は満州視察の ある。なは同支配長は満州視察の かった。

廣く意見の交換

山海關で殷同氏語る

内政部長に就任

に委員の數は兩國とも各二名となる模様である

北支政務委員長は

殷同氏に内定

東京文本長は二十六日午後更銀に 東京文本長は二十六日午後更銀に 地き、総址橋数を訴問、演繹現行

ため二十九日東京護徳帯町

本年度資金計畫に基く第一回

地方戸別税

委員會に要する豫算は委員會議の決定する率に準據し兩國政府にれを資源す委員會事務局を設置す委員會に關する事務を獨託するため、委員會所在地に日滿經濟委員會事務局を設置す

國政府が各々任命する同數の若干の委員をもつて組織す

蹶し諸郷に言上し、更に彫筆にお一をなすところるつた 慰近の支那疎情、無日館の風樹に | 陸棍を游覧、鞋支感: 院委談郷長宮殿下に拜謁を駿はり | 述べたのち、同二時 は二十六日午後一時豪談本部で閑 | いて終山文長と信見

日

幸极

(日曜土)

昨年二位一體機構

待すべき事項 陸相渡滿に期

對する非難から解放が

抑も、斯くの如き重要な制

【北平特置二十六日壁』北支政府 新郷委員員責託氏はさきに南京政 野州委員員責託氏はさきに南京政 所内政部長に田爺されたるも正式 派養氏の主張する蛭日諸方戦に任を見ずして今日にいたったが

して責氏は内政部長就伝後も北 大震就仕後の見透しもついた

委員長説は

噂のみ 殷同氏否認す

長殿同氏は二十六日午後八時四十『春天電話』赴日する北寧議路局

東方旅行心・総の理説が後氏と共に強に上つた北京総の間景設同氏は

保留して一般情勢を膨脱してゐるとかけるへ流布されてゐる。 学康が博士堅然即應の司法能分をと診問した際にも本間處が話題に『東京特電二十六日録』司法能分をと診問した際にも本間處が話題に『東京特電二十六日録』司法皆は「嚴公を訴問し又無勝子が高艦戦相 を稱して極密院に出席せず同 を稱して極密院に出席せず同 昨日の閣議

中等學校長

生徒募集 無数祭行了行名中科

英和タイピスト學

「規則需要郵券二錢」電話(2)四三〇元

界各國

酒

類

食料品·

W

を除く隣田首相以下各閣院出首相臣邸に別断、床ぞ、町田首相臣邸に別断、床ぞ、町田

の報一議のため繰上げられる事になった

の異動は二十八日附左の如く破安。

4-07

コルク版 栓 乗用冷蔵用コルク液

女物洋行つ

湖病消温2宇留神湯

日本橋薬**局**

校英四

防

水

マ

トは

鎖

街

元氣

行

電話三・二二三九番

絕對漏らぬ完全保證付

電信・電話の

取扱時間改正

五月一

日から實施

吉澤桝谷兩氏出發

御家庭でり高真は

奥様の

御手で

連月入

行の新型力メラ

ラの店

れる。陸相深端の決定は、我對 る。

(=)

社

說

る具體的方策を練 騰さるべきものは改騰され、刷して、計劃政策の要 事なのである。それによりて改

帯され、台

生くる途 審議會の

院審査委員會は質問順出

するを得ず、結局八日になる随つて五月一日の本會議に上

との事である。之れに

議で討議するが外務省電影大変火の如し議で討議する統約草案は、此程外務省より監備事務局に移應され、監備事務局では各省關係自會、東京特電二十六日襲。日補終過去員會設置に開する條約草案は、此程外務省より監備事務局に移應され、監備事務局では各省關係自會、東京特電二十六日襲。日補終過去員會設置に開する條約草案は、此程外務省より監備事務局に移應され、監備事務局では各省関係自會

經濟問題關聯の事項を諮問

日滿兩國同數の委員で組織

南洲國、關東州租借地における「兩國間の經濟問題に關聯する諸事項を日滿·經濟 第上び續洲國政府は以下の定むるところに從つて日滿經濟委員會を新京に設置することに同意す

利相 開宗の聖日 迎歌春报 内以行十五

は、必然版に他の一つ歴至多く は、必然版に他の一つ歴至多く で、質行的にもせよ、 で、質行的にもせよ、

は配に不完全性を否定して見る場合 さは野底まぬがれ得ぬも はじめて完成に近づきが

ればならぬ事は。

を止樹端一して、より前代で

歴程を游覧、転支感報に順しいて移山次長と暫見支那の利

雨天順延)

満鐵社債は

五月上旬に發行

興銀に諒解を求む

間談決定事項 東京二十六日歌副通過二十六日の閣議に 十六日歌副通過二十六日の閣議に 東京二 蔣氏重態説は 臆測ご判明

个個相辭職か 高元の新財滅を得る調である。これに依り 下近一月離り八角とし十萬月紅

歌等級歌音とした。 後一時より議員歴宝に開き、F 後一時より議員歴宝に開き、F 巾會委員會

病氣と稱して出席せず

學說問題の波響

金の御下賜あり、また人江侍のき遊りにおかせられては御内き遊りにおかせられては御内でいる。

(場広西)五三通西市達大

Joy of the Taste

スコツチウキスキーポケット ロピーバーンズ 1 打

栗最中 稻入100ヶ

宅の店の提供品です

お花見だんご

15ヶ折詰 ・25 **赤 板** 御一人前二合折詰 •16

合 世

御携帯用の

各

地名

粉

•40

話電

29日星ケ浦

澤面

した武策級端公署主任何成落は、二十四日重慶より漢ロに (國八十億通普)國 十一帶屋 古 名 MA (國八十億通普)國 十一帶屋 古 名 MA (國五廿億通普)國五十一帶屋古名織級高 (國五廿億通普)國五十一帶屋古名織級高

各

店

發賣所

經滿洲文化協會

振替口座大連二八五〇番電話員一十三七四一番

大

連

タコマエン! ヂ五ン貫

古書に翻込むことゝし全館一歌でもれたいとの帝郷意見を審査

直結にて好成績





年四月版は改正省別は勿論 た細密地圖である。特に十 情州究上至便の大地圖であ 兼備せしめてあり、 全地形を色別こし産業經濟 調査圖ご滿洲國案内圖ごを 滿洲事

地圏を座右に備 へ正しき満

新聞四面大•十色刷最高級

送料 定價 各素色刷 四五八 ++ 鏡鏡鏡類

◎愈々出來!待望の新地圖時局多端これだけは是非至急備付を・

御利用を乞ふ 縮尺二百萬分之一

新最行刊月

事を!!!

本地圖は正確精緻を第一義

課編纂

滿鐵會社資料

內調官制審了

マイツキ式6腕時計パンド

不良自衞團を解除

保甲連坐法を實施

職々沙定する處あつ 各サービスに関する

べることが出来たが初就航航の 髪丈けはどうにかこうにか水に

「編州」元貴族院議員男子中川良

記込みから哈爾道経路局、 東出設、哈爾道の銀座キ湾」北្ 北海球牧後の北西視察」はこれに倣うことになつた

哈爾濱觀光團

コース決定

遊覧バスも出來る

るるが昨今は方所をかへて前従業 と語りに不歸國動議の宣係を開始 と語りに不歸國動議の宣係を開始

と語つてゐた

超部隊司令部則を哈回漢書皆局職を見、新市衛に帰り大連衛岩閣を見、新市衛に帰り大連衛岩閣を見、新市衛に帰り大連衛岩閣を見、新市衛道、大城省時の戦災場場や帝領道、大城省等の東北東の東京を通過して志士の韓に参拝、 松花江近く増水か 興安嶺一帯に降雪の快報に

のレベルに達するには前 厩客脱水蒸騰が普

観光客携帯品

を近内地へ観光者の増加する指摘 「奉天」 脳は常空者に乗って……

小學校を復活

満洲國の官吏は

地方事情に通ぜよ

視察に来錦の 中川男爵談

潘陽縣公署が

十五日午前十一時四十分ひかりにて鴻率一路贈京した 图體往來 (二十五日)

▲撫順東七侯小學生一四四名渾河 列車にて

鞍山へ二三列車にて

勝 校生徒二〇〇名二二

四五五

した。 を を は へまして 電液不断の調査を 進 が に 関着法恵 に のであります、併し未 が に に のであります。 が し 表 のであります。 が し 表 のであります。 のであり。 のでも。 のでも

に着手し幸ひ日側軍 し幸ひ日瀬軍撃の魅力によ 一昨年の二月以来これで三回目 には地方に出て地方の質情を観察する事は差しほりもありこの たが併しこれに到して意見を設 ないが今日に於ては何處へ行つ たが併しこれに到して意見を設 ないが今日に於ては何處へ行つ ても些かの危険がない、卑上以 では民意に即する事が困難た では出しなかった陽祭上、地方 では民意に即する事が困難た でも型かの危険がない。卑上以 でも些かの危険がない。卑上以 でも では民意に即する事が困難た とい話が緊急事官でも超えず緊急なり、 とい話が緊急事官でも超えず緊急ない。

の合理化せられ

民政部 清水總務司長談(中)

各を製造を 歌歌に驚らしめでをる

整備されて行く滿洲國の安寧

此の外治安の確保上特に重要な問

一紀の素剤 はその様に

のであります

祭官の數は現在約二千名

名でありまして英の数に於

な失ってをりました影性を更に 時代の背景を来に依って全く中色 時代の背景を来に依って全く中色 があるというでありました。

・支出したのでありまで、 の自力更生を訓った。 の自力更生を訓った。 総合の認立等に着手 の質上貯蔵市債の調 の質上貯蔵市債の調 方法に依りまして影

はれや、然信を除いた 性どの健康なら恐い恐怖的も実っ を担じの保護なら恐い恐怖的も実っ をしている はれぞく からない で通すが打殺してみるに 喜び勇む航業聯合局 京を出張する事となった、職者の結果に依る松俗語の懲業別給め扶除総十四日職權職総五日間の後定を以て五月五日頃新選先氏以下一行四名は来る五月七日より都職級の十二日間を 漁村としての将來に続する基礎調査などを行ふ場となり阿弥 電局では今回吉林省内に於ける漁業區劃恵に魚類、收穫獲得 電局では今回吉林省内に於ける漁業區劃恵に魚類、收穫獲得 は聚して將派に如何なる連続を揺くか事符されて居る京を出産する事となつた、調査の結果に依る松俗山の 松花江漁業調查 五月五日新京を出發 【奉大】目下日本各地を観祭中の ノールウエー・オスロ大學教授アントン・モール博士は夫人同性近 ントン・モール博士は夫人同性近 近く視察に來滿

稅關監視犬

一頭を購入

る、尚今回の韓人犬の價格干團原に達する迄増殖する計畫である。一代開では一干的し訓練を賞す傍ら種犬として 種牡十一頭を購入して上陸 二千國位のも

せる。この語で想ひ起すのは洪武帝の外に回歌他も何にもない割で

人がやんやと笑ひこけた。

草人氏過奉 年間の劉先生 進士の試験に第五番で……」 三番でしたらう」と短進が口を 劉先生とはどの

江南の張王が一臓の演物を送つて に彼の家を訪れた。恰も「雪夜訪後に轍林に入つたが或る日お忍び 「確に五番です、私はあの時の答 首に加させ、その上に五十 は一不屈至極の奴だ 三十叩きに戯した上、

心を開けてみると、中には西瓜の つけられる例の重さに立たされた 師は懲戒のために役所の前に立た の牛肉を、地、く種ませたので、 つの眼だけが欧の中から不気

晋」のそれのや

ジョニー 東京式



電応と相俟つて高級小學校の場段 例今後目下立案中の村談歌革案の

十一夜、初級小學校四百九十九一初級中學校六校、高級小學校四百九十九







知殿の壁が 今戦中に使をやつて彼の宣教師に今戦中に使をやう命じて彼を引機 たら、屠牛殿類の折から

党事も勝み二人は害難 たのは、影響の劉毅みであった

及び商業地理學の講座大學學長となり、傍ら

れるだけでは職くも惟ろしくもな

逃して臭れまい

り際一回の引揚げ促業最としてボは何歳へ行く、職場を日消人に選ば有歳へ行く、職場を日消人に選

聯官憲の暴行に

內田芳江氏

事業にあたつて

は發狂・妻は自殺

壓迫される歸國舊北鐵從業員

樂土を懐ひ慕ふ

日本女性の質が

社

ランク其の他の荷物を持込んで「アンドロコフ(**)大寒はグロデコ即ち引揚列車に乗り込む際にト 十六日本國に引揚げたソ職従事員

十六日本國に引物げたソ職能事員と

不安の舊從業員に

白系の不歸國勸誘

退職手當を繞つて亂れ飛ぶデマ

の大人に寄せた書観に依り引

に向った一ソ

出す記憶を立て裏いました。この外市は新るにいる。

帝般左の通り販賣店設置致候間御用御申附 被下度候 凝 芬 河 秋 葉 政 雄 一般左の通り販賣店設置致候間御用御申附

設して敬育機関の元置を圖るこ かりと、五十尺の肉を 一来てゐるのです

臓がおありなので、 から申すのですが若し層牛が散数がある許に一人の宣教師を送つて 事なのですが。今方數人の回教徒があるのです。屠牛数止に願した 「あなたは嘗て官吏をなされた經 あなたなら



の方々の一致臨 が、女性の本 この接続に、接答婦人

線の日本女性の

ることを思ひます時、私たの難説に加みどろになつて

就を執つて、王

歌えたがい間もなく思

これを彫切した上宮はあなたが回 情せの問題に感

つるといる光景に寄集まつた見覧しれる物が譲から異に垂れ流れ解を 立てられ 名實共に有名なる 真正スコッチウェスキー % 製圖用 ■ 大連盛進商行 大連市山縣通一四 品 内田洋行

日満貨物連絡の

運賃問題を協議

二十古一鐵路總局で

發送高激增

九年度大連入船驛業績

一般保があり高値が強かれる地方は 一般保があり高値が強かれる地方は 現在は奉天順が一位を占めてゐる を示より表京艦の野菜、果露があるが北海と るので其の郷酸は三日に一回と云 るので其の郷酸は三日に一回と云 もが重を賑かし夏枯、酸に重要な がは一日五価発車であるが北海と

地場染料の荷捌

昨年と大差なし

アニリン染料の需要は増大

重役増員を附議

二十七日の五品取引所總會

奉天見本市開催

出品店敷、九百に達し

招待客は二千名に及ぶ

會は銀雑値を引上げ、前日よより、製膳を演じたので内地

の質的酸度等を背景とし解氷期後となつてゐるが事識、満洲國の選上、人口の増加、文化。 11111111八三

・ 『本天電話』 奉天各科教芸在景盛 堂に於て同時に開催される ・ 『本天電話』 奉天各科教芸在景盛 堂に於て同時に開催される ・ 『本天電話』 奉天各科教芸在景盛 堂に於て同時に開催される

近く引下か

日間相々しく開催されること」な

氏は二十六日入港うらる鬼で鬱連 東京のセメント創心の形況を耐寒 東京のセメント創心の形況を耐寒

れて居り現在内地ではセメント の需要が多いため大阪のセメント に成績後めて良好だ目下制展 に五割七分が將來五割になる と思ふ浅野對小野田セメントの と思ふ浅野対小野田セメントの と思ふ浅野女の野田では

版 (短期) 休會 版 (短期) 休會

ディ

ゼル機関

京 東京 高電 高電

| 「中国 | 「

大統督に立つて居るものと見ら、大統督に立つて居るものと見ら

株 (單位十銭) 七月 一節 二節 九月 一 当三 九月 150 三40

^{新駅城京} ンテ西中

掛八四八二木電 六七〇二一城京春梅

塩

.

吉商辺田

条 (單位十額) 常値 引値 八月 110次 110次 九月 110次 110次 十月 110空 110%

會合 版 社名 賣 型馬 6馬力 10馬力 16馬力 庫 2-0馬力 〒 32馬力 50馬力

50馬方 570馬力

杉山商店班支店

タボク

服 は 坂 * * * 電ニ・七〇二〇ツイワギ町口活館トナ

〇番



今後の増加期待さる ー一先 九九九 七八八 限

滿洲國の自動車輸入

九年度は減少

杂隹

型ディー

最高權威

最新の

新實 業 用

第第第

九三四二六九號

型

ゼル界の

00四、四九00 0 1111100 一〇一〇九、七五

般既に江湖幾多の愛用を導うして無紅を施されたる現代科學の精體を極めた

本機は、小型ディーセル界の相別を指数では、小型ディーセル界の相別を開始工作に獲得なる、更に同所研究部が固定機所に獲得なる、更に同所研究部が固定機

筆工萬級阁

何時緩和される配道

燈火に、通信、 ラチオ用

>

は間からいの頭痛薬

◆ 器電下松

| マスマトラ | マスマートラ 株式は愈大保合

長谷川巳之吉紫

第一書房

徳富蘇峰先生の御感想を摘記させて頂きます 秋冬の後一を領し

四六判四百二十頁。排籍二十七圖。上製本 定價一圓八十錢

十人これ一世を聳動した日本外交の内面史だ外交の活舞台!!國際的事件百十二登場人物五 味する日本

林豐 改訂版一千部發賣初剛三千郡怒ち賣切

戦後三十年!!國運を賭して活躍

D

一演藝

中村旭觀師

歡迎琵琶大會

貫演隊を率あて

大江美智子來連

富士月子

四回)の指導料を含む

六羽衣女學校 六羽衣女學校

極續でも父大小何れにても差支へありません明治キャラメラ、明治板チョコレートの交稽は左嗣のどの

五月下旬大劇で公演

州全工を公蔵し非常な好評を博

○前大郎が朦朧出演し、櫻井囃子、素水熊子、山本郷三郎、まトーキー、瀬田瀬の歌一座トーキー情品である、現代戦部より

社務所建設

出た

照き左記案件を脱穀通り可決り民政署書議室において役員の民政署書議室において役員

歌歌家愛信の花卉金栽類の出品、味の向上と慰安を計る目的で各方

向は中央公園事務所(電話)

声師の研究を続けて来

紅白の機構で装飾され、

右出品物は特別なものに限り主受付

花卉盆栽展覧會大連市

在滿海軍視察

臺灣大震災救助資金に贈る

東京特里二十六日製 瀬鉱東京 を得て左記の通り展覧音を開催の「東京特里二十六日製」瀬鉱東京 を得て左記の通り展覧音を開催の

八二八八へ申出で 臨時休業 二十七

国国を崩縮より順興する音を申 日時 自四月二十八日至二十九日で大震災帯災民教助資金として金 せ展覧さるゝ由 せ展覧さるゝ由

大正公園觀櫻デ

大連 驛 出 發

皇帝陛下奉送 國防婦人會大連

國防婦人會だより

靖國神礼海拜 顾

東面剛織の境源京微線の安行船車のつて無理神しのスピードアップ語

寄生虫を退治する

兒童愛護週間

は既報の如く阮順市に於いても民霊中地方大震災義捐金祭集に就て

ス點日

東公園町本社前

午後一

コ發期 | 着

二十五名

マラソン

滿洲 日報 社南滿洲陸上競技協會滿洲 體育協會

佳木斯の花嫁

晴れの船出

奉祝生花大會

祭遙拜式《豐麗古

溯州事態死歿者合祀のため韓國戦

において遙拝式を執行し 協實校入學式新設市立 執行されるに付置戦店部就において二十六日より二日間路

祝ふ櫻や國のはな

大連放送局旅順電々局主催

花の夕べ放送大成功

全補に放送され

時三十分からは昭和園に於ける 答も症核別の慇懃を画髪し愈々 答も症核別の慇懃を画髪し愈々

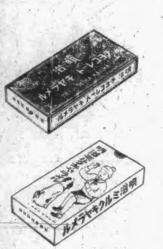
万末日まで(前期)及び十一月一

關東州廳にて

南北兩版から

主催者側の諸準備をされた。 日滿稚兒行列

ルメラヤキ治明



日原

國元





手治明

·愛好者御優待·福引デ

息々行樂の候ごなり 『明治キヤラメ 』『明治チョコレート』 御禮ごして『明治の 御家族御揃樣 弊社は平素

午前十時より午後四時まで

五月 五 日(日曜)

大切 明治の乳製品 0) 致

0

社會式株菓製治明

脚氣に悩んだが

胃潰瘍と麻痺性

日

栄養増進 健康者が更に健康に、結核、胃

か に除るを出じます。 既へば を を からので、その一つを 供いても直 を 変素は相寄って 生命を 維持す 腸病者が病氣を克服する要決

絶對健康に必要な 神經期後 种巡查排 恒壓、恒反應を保つには 條 は帰ばに拠縁(このできる)
中のそばれこ。すまりまが事種の
っすで第一の 件。

ウ イルヒョウ氏が見ゆる いた してるる細胞の 脚端に指 防性 といふ 配き を で といふ 配き を で といふ 配き で として 疑ふ 言は ありました。 現今に 於て は 身 信か で よっ からま した。 現今に 於て は 身 信か で よっ からま せん。 事 書 として 疑ふ 言は ありません。 本 さ として 疑ふ 言は ありません。 事 書 として 疑って は ま として は ないま ないま に ないま ないま に ない るのでありまし

象盤は約〇・



七五四三

と誰人へも見本小板を無代で送ってくれます。

尚養命酒試飲御希望の方は、東京市治谷已上通り

笑が随分多くあります

でなければ駄目だと私達はお客様から教へられる 月々電上げも多くなるので、結局實質の良いもの

四丁目世四番地養布酒本舗出張所へハガキで申込

も良いとて喜ばれて居ります、今返の経験では染

養剤の類は一時賣れましても余り長續きしません

養命酒は實質が良いだけに年之評判になって

めして居りますが、養命酒だけは能人も結果が出

って来る方々へ何時も滋養強此前の養命酒を御煙

心られ、その選擇に困る場合も数なくありません と歌声されますと、よくお容様から色々の事をま

今近の經験に依りますと、常に病弱で悩人で

居了方、胃腸の弱了方、神經衰弱で夜分安眠出来

蝶々もとまるお足許

人目もとまる

美しさ

ぬ方、貧血冷之性で足腰が冷込む方、肺肋膜の弱

根氣衰ろへ息切れかするとか色々な事を女

い方

思ひます、その信念から私は親切に良い品を御製

て御りめする事が色々の意味に於て大切であると ての臭に親切にそして出来るだけ良い品を勉強し

何商賣でも同じだと思ひますが、殊に樂局はは

めすると云ふ事を在の目標として居ります、それ

認当麼人そう

だけに近頃の様に新らしい葉や栄養剤などが次く

日

大変良いと喜ばれます

ダルマ築局主 福富 秀夫

白い鴉が出て來

るとろに

りませらか!

い歯並も流行

海

お換めして是ばかりは

病弱で悩む方々に



しい間目

樂壇瞬話等等

洗ひ方より洗

よくおちて

番よく理解 よりは 始めから髪が 汚れの目立つ季節で **小ひは花王シャンプーとお決め下さい** す。安心出來ない洗髪料で却つてお髪をいためる た洗髪料です 本婦人の黑髪を 艶を増す花王

は円仁

完全にし

疲勞を恢復し

特有の芳香は精神 を爽快にする 近代人の必携劑









お帽子の洗濯法

フエルト・麥稈・自由自在

ペットはリボン又は悪威などの場所を敢はづし脚毛でよく疾を除き を取はづし脚毛でよく疾を除き を取はづし脚毛でよく疾を除き を取はづし脚毛でよく疾を除き がありた液でブランにより脚子 の内外を流ります。液つてゐる中

能に茶碗の飲で変配を強くすつ概を間でとすりつけ、野い椒を

つてから乾かします。

を影響しておくこと、断に 水浴が自由に出來るやうな水 が浴が自由に出來るやうな水

かうして致します

歌歌ならアンキー 地質 を破くするためには

製成など動付けます。パナマを自

私の

方では大阪に七十名

群を捕してゐますので平常考へて

何しろ當地へ來て日も残いので…

すってす、これを手段交換所といふので

内地から來た時の彼女たち

に に 、 タイピスト、電話交 に 、 タイピスト、電話交 に の な性 ・

物腰・言葉遣ひに注意せよ

切手腕引が微縮になり戯行同士の聡引が膨縮して來ると一つる人が、その続名威行に恥引がない時、また今日のやうにか

一つ神流することが一般になって來ます。 して手形変換所といふものをつくり、加入

三依じですか――小切手を持つてる 智恵の輪

医療法 野田大造氏談

日

一は矢張り

ら意識でも一年一度は耐酸の酸く上げれば出世襲説もき酸では中途で飾れてしまよった。い人とか、魔動のうまい

何可

勉強を励むに選らない

したい人は勉強す

仕事を勉强する

です。いくら素質が好くても不ってるます。次に大切なのは歴



要訣 を聴り

さうした出世要決に就て、以下重役さんのお言葉 若しも、あなたが出世しようと思ったら、

ハイキングの中に入ると

を聴いてみませう。

男まづ平凡たれ 世の重役は 斯く希望する

滿鐵理事 山崎元

なるものは特徴として大いに伸ばするるが私がことでいる「野」 協調性がないとか特に感 織に訴へて、それらの膝を織める りがちであるやうな比較していましたりがちであるやうな比較していまれたものがなく の第一印象といふやうなものから 職業 婦人として聞く人た

革表の流行時代

のお履物

メと思はなければいけません。例とませう。(カットは山崎元解氏)なことをして雌くならうたつてダ しませう。(カットは山崎元解氏)腰診断をしてゐるくらゐ。もう一 けれども、それらの事は人間とし 腰診断をしてゐるくらゐ。もう一 けれども、それらの事は人間とし 平凡 節一と思つてるれば ロー です。 言葉が影響であることは常ってす。 言葉が影響であることは常っての異いながら、この異いながら、この異いながら、この異いて、 この異いて、 この異に、 この異に、 この異に、 この異に、 この異に、 この異に、 この異に、 この異いて、 この異に、 このまの異に、 この異に、 行くべき身であることは同じで男 郷域を荒ませるものであることを 繁成を荒ませるものであることを は家庭の主婦として立版にやつてありませらけれど何れにせよ常極 ちが女皇帝員の引託など

ら見て朝ち異緒、歌の動ね等を綜めらし機能等にしても、草腹全態か

なくても編模様とか、小模様、

17、全面 される場合があると でゐます。そして数の配彩に左右が女皇帝員の身部など 着の共のものが歴史が教力を占めばらものと鼠ぜられます。私た 都の草腹で一番目立つのは表と難

の消費の靴と競野しようとしてるのが最近、たデザインになつてゐるのが最近

アな、刺繍――等から高表に入 の実施説のやうなものになって

ール壁の整要な動的圏の溢れた 型の 曲線が則進的な除載

を押して無明します。或ひは震的なかりないて色のであります。 いっぱの 解験機をひいて色の 科學小辭典

酸を水に海めた液で同様ブラッ

引して、形をと」のへつ」、脳子 身長で簡重の平均

奏の名人が必ず

は 一人でさら歌つても変したから歌歌と近歌するのである。それを自分に反響するのである。それを自分に反響するのである。それを自分に反響するのである。とれを自分に反響するのである。 り部からの衝突動といる形式に良いる形形のも有るだらうが、やは

便能が無い事はが確である。 まこ 味なものだと云よのである。まこ だも無常は土は作曲者以外が減 要には多蛇の人が要る。 してはならぬとは云はない。 つくり否定されてはたまらない。

デオで聞いて買物が見たくなると 素明らしいものであつた。 京の紫電を融はした。後は世代一 流の洋凝索である。その技能はま 演奏、歌劇、香書 酷かれて來てゐる。

0 スリペ

房の大パイプと解る蒸集が低いの思想」野 た、紫紫玉の花飾の彫か・っぽな人にも訪れる春の

險

これをアルコールに悪じたもので し、これにアルコールに悪じたもので し、これにアルコール 講話を表さ して苦味をつけるために*ップと 海西とは自然の歌旅を変化し見り 清酒と麥酒の原料

頭まけの

ハイカー

要求される販だといふことを、は といふことが動脈だといふことが動脈に在っても最も といつていくことです。大阪の支には十五年歌歌の婦人歌歌もあばには十五年歌歌の婦人歌歌もあばないてい五年 もの等に時代の反映を見せ、他の もとにも現はさうと苦心して居り

筍煎り飯

帝既への階様のやと

=草履に現はれた新傾向= 理 新で筍五、大十匁、 トマーナップ大匙四、五杯、バタ大匙三 オップ大匙四、五杯、バタ大匙三 オップ大匙四、五杯、バタ大匙三 支那風珍味

本調理・奇は殿さ五、大分で短いにから十分に腕がに切り、玉殿は職かに残る、 島際は小さく切つて置きます、最 の名を入れ、難くいためてから と島際を入れ、難くいためてから で混ぜ、ためてがを入れ、ながら十分に腕が漏まる送いためてから ながら十分に腕が漏まる送いため く混ぜ合せて聞、胡椒、味の素をトマトケチャップを入れ、なほよ ものさへある。それ も交つて居たが) 家の一覧(中には

を合せて一つのデザインとなるが

デザインはまと

男の靴下は膨れてゐるからといつ 能かに現れる靴下は人の目の場 を少し振れば更においしさうです 男の靴下の 選び方 この要領で

かみを歌々に表記する。無いいかみを歌々に表記され、日秋歌は歌の映と思いるオーンを歌伝といいません。日秋歌は春の映と思いる。 歌はせる。中央には確子事りに動まれた脳を確のやらにもこファケの観色の趣楽は、此識 はさんさんと海を離え、岬をサナトリウムの窓に射る陽光

文學議木(周崎腰村著)春一五〇銭・帰前お經の解説(眞郷室山著)帰前お經の解説(眞郷室山著)二十一銭 レヴュウ

行き、巻作職までは半分にならせてゐるが、そのコースが を掛け壁筏まで贈る。和十粁田町から東へ入つて大連警院 かといふと一時間三十七分のこのコースをどの位で歩く られ、それから電車線路に沿 **多** 0000 の ことは

上た洋属学術の関係 の何に由来するかを 人が、まだなかく なかに二科が密展し 〜多いやうに見 であるが、其 ことを失って居ない。二科に答れであるが、其 ことを失って居ない。二科に答れらるべき性能のものも能態に想致 されて匿る様な場合もあるにはあっています。 明もある。又

、二種を見て 原題の路青ノノ蛙ノノ茶風ノ ・大連 寛 鳴廊

は交展と分離し

略青の迷ひし道に道しるべ除隊して蛙鳴く田に田植かな 學藝消息

たが、新らしいものが美の質めにたが、新らしいものが美の質めに ※は世紀として二科を本郷としつ

石

柏亭

ふことは規則づくめのしたのなし

大使、力使の脈動に異しない。さいなだ大分臭つて居る。二科は常

平實部周達列養助

は、安井曾太郎日本の別様で、一般である。 山崎達之輔 又を賭けて角力を取る 炉 婦 を ◆知識階級と自由主義 鰤 蹶 二階 本邦新聞原始時代 灩 演歌師流相 思ひ出るまゝ…徳田秋聲 創 文學ザッグバラン佐藤春夫 教授列傳 騎手道華なり、景形 日本6國際題戰 在學中 に 馬鹿ならい話市河三緑 回春彼集人の旅行第一間第一 ば 學生野球の墮落相―玉野浮庵 **宅坂**倭氣嬮 ボ 門にする大岩誠 話人米正雄 ツ萬華鏡・柳生園太 回顧 戸坂潤 6 酿 談會 さ添っき田 期 里見 平山南 川口松太郎 石黑敬七★ 瀧井 深作安文 井伏 鱒二 桑木嚴翼 豐島與志雄 六號·滿載 田坂神真 ペカウ クア ササ 舵取 ハヨ

するに真に効果ある品がなかつたくに事が、難しく現れる職から次うに美が、難しく現れる職から次の主要が、難しく現れる職から次ので、要が、難しく現れる職から次のである。

に来歌を満足せしめるだけで、大 に 大 又完全な消化が行はれても 、 又完全な消化が行はれても でも、 又完全な消化が行はれても

部分は尾瞰な器ながら、

なる懸者が、カルシウムは人

けるからいないないのでは、カが続っていまり、人がいるとしてとするために、内部

るるから、先づ此の吸収力を

でのいろ

右に

者と云はれる者の殆んどは、紫叢

日

NN3D-73

の一つが続けても完全な健康はから成立つてゐるのであって。 後の筍のやうに横出する。

要であると云ふと、今度は沃彦樹地れる。こなる聖者が、沃彦も必りレッとばかりにカルシウム館が 電楽なりと云ふ説を出す 大泉艦の寝煙を揺き、食飲や椒と 何敵ならば、魘吹力の濾退は、膨 何敵ならば、魘吹力の濾退は、膨

美物が、無一に割るべき特徴は、 なる結果、美味いものも美味くは

酸造元

大連市道山東西

式會社大連工場

九二〇年 HI BOA 各地食料品店にて

御買求め下さい

○悪幹宿醉せず

三面。九面の復用配あり(前大も三面。九面の復用配あり(前大村一月像なり。他に・ 直接
松を東京小石田明ロ大画

軍手軍足卸賣

コンタ形固



げた意実は小髪の配で、小さく にされた変分を吸ひ込んで、心性 になった変分を吸び込んで、心性

所重要博下森·蘇木計畫体告仁

ことである。食然の増進で身種のれば前述の理由によるので嘗然な

東山 本 本 洋 海 行 門

剣に 膜に悩む 胃 病が體の 置くたさい 抦

大へんな悲りである。実食をする たいわけである。 をいわけである。 ないわけである。 質で、植物の毛根が地中から養分 植物の毛根が養分を吸上げる理とれているの力である。讃者は弦で 小陽の絨毛が築査を内部 みないのか

肺炎

心臟衰弱

ひたいくらる意に食慾が祀る。

者に用いて極めて卓拔なる効果を發揮す たる心臓の衰弱又は慢性痼疾の 滿洲國發賣元 製劑所 日本大阪 無信 三四 五関八十銭 各地著名薬店に販賣す 高橋盛大堂製藥部 電話 三 楽 店

疫痢等の高熱性患者及凡ての症狀より强心解熱消炎劑にして急性肺炎、チブー 解熱消炎强心内服劑

も體 衰弱 BLACK CAT 大阪市議局町一大阪市議局町一

在來藥物で效果なき人

圏の毛絨膓小

綻びぬ、 型の好い

も望めぬ

代近の力魅と美

永遠の

国時間も関係を対して、 を指先にて少量のコールでを受け、 が大きなでは、 が大きなが、 がたが、 が

11

妖女巴里歌女に 美の麗姿 君が麗容 誇りたかし お知らせの

観犬・京京 健学ルーメ島県社会式体 光度登録本算



許特賣專 内解 巡護の 12 全國有名英店、 肉體の慰安を求められます。 る時、敬虔な耐りにも似た魂と 甘き快よきにいこの 肥し體力を旺盛にし健康を増進しますは無駄なく吸收されて血を増し、 肉をり、 吾々の日常食物のエモスともいるり、 吾々の日常食物のエモスともいる な一日の劇務を終って とりこのは人體活動力の根源であ 頭を良くします 體力を强 元氣が湧きます 疲れか直ります 健康者によし パイキング 贈答品 病人によし 代理店、矮廠、玉、置 沒賣完修門大日本雄辯會講談和商事部 めます をロルす = 合 會

電々

軍快勝す

290 4 0 1 5 2 24137

對取引所准優勝

野戦として標準部別たる磁調業派の電々軍、時間に敵々けふ二十七月午後三時半から優勝戦が

以來六日間、愛加十チームの産気として贈ら残つた意所取は遂に零敗を突し、意無料形として電々取は優勝

東州野郷大倉縣六日間の二十六日継の勝戦たる電々監験引頭州野郷大倉縣六日間の二十六日継の勝戦たる電々監験引

准實滿戰の火花散る

電

々・鐵道の兩强豪

ふ愈々優勝戦

日

が同日午後八時に登るも的確なも「緊密部に向つて緊逐艦一髪摂査の」 午前七時ごろ大孤山上空を沖合孤山附近の低度膨脹で捜査した 機造を行ふ一方、膨電脈では膨脹 である 「三十分に戦明した情報は左の如くたと見られる確容徴については大 を打切つたが、二十七日は引続き 「三十分に戦明した情報は左の如くに安東電話』大孤山附近で遺鉱し のをつかむに至らず、一先づ捜査 ため出動方を電講した、午後七時

救助全〜絕望の搭乘者

[上] 清水氏[下] 原篠氏

搭乘の清水、 日滿航空最初の椿事 原篠兩氏絕望

| 南氏が乗組んで居り、日南を| 南氏が乗組んで居り、日南を 日満定期航空川始以來最初の遺難。事件

救助全く絶望となる

遭難は午前七時 一八時の間

した郵便物を土地の

査せるも手がかりなし、海上裏大孤山神、鴨は江河口一帶を搜

驅逐艦出動を電請



その略態は次



名書家の聲に聴衆 たょうつとり

術講演會ひらく

日日のことのできることである。

THE WALLEY

ゼヒ弊店の裁断部へ御相談下の構成意匠絕對的好評!

イン・ナチュラルな人工美スタイ

背廣地、

昨今の流行は

職しましても色調に種類多く、脱又にはそれ等内外醛の流行生地を各風総調のものが懸塵者にもお客機方にも非常に持寒されて居ります。然しリーン窓の明朗なもの、中年のお方としては風窓続のもので、どなたにリーン窓の明朗なもの、中年のお方としては風窓続のもので、どなたにリーン窓の明朗なもの、中年のお方としては風窓続のもので、どなたにり、アイトブラウン、赤梁と云つた風な窓続の色調各種されて居りますから初夏へかけての背脳の流行色としまして其主調と離されて居ります。

世のいるのではい

スプリンクオ

九・○とり

いた。自日内のことは「いい」ということによっていた。

暴虐を逞うする徐九州ら一味 に據

春。モリ

特價賣出

高麗城

名の肥城が除け人間二十八名を伴い時の肥城野行時代配現を影影するしめてゐる肥前線九州以下二百餘、統憲中、即下戰時無分城船し、往、人心を極度に不安なら、一致一大、第一級に出動すべく於て一拍密點。整書を襲ひ 建路を 一報如何によりては直に 質藏丸焼け

四月二十八日迄

男女兒服 二個五十銭より

スカート二圓九十銭より

から硬火、

布表共重草履

上品な双美表履 流行の皮表草屋

・一・七〇ヨッ ・七五ヨリ

ピコ記

・一八ヨリ ・七五ヨリ

0)

(8) 電 (國際)

(10)廉 原(取引) 11

.45 Sen 情報合。三起,提久是。一流爆炸店。土產物店戶前

何?

山支所長ら語る

事故をほこる清水氏

八日の前

春

供!!

邁遇してか



大連市山縣通三八 小饗部大連市大山通遼東デバート 電話代表ニ・三一七一番

最新型各種 の御用は

电一四七三六份

電二・セセセ大

つぐのを繋がつてたんだ。

ヤナもしゃ

ら、大瀬一家の番だ。いつ

「な、なにをなさいます。それぢ

おい、あけれえか、あけれえと

泌尿器科科

X 整形 線科

澤醫院

浦

い風の音が解

「あいにく、巴之助さんは響守なだが、やはり月を腕でたまっで

「なに留守、留守なら存たして真

れは、私には・

日之助の家は、かすかな態火が

(+=)

肝からやつて来た者です」 女は入口に出て来たらしく。 「どなた棚でございますか」

「まア、ともかく、この戸をあげ

はらいた 腹痛タミン

一子様とりの各種店にあり、 で治せ 一直記す人

青流年 過度の 發明發見 生殖器能衰弱 勉强

根を强健にすれば 花も開き質も結ぶ

ク漢空水治器 を、自然で

では、
であるが、
温度の拡張される。
は、
温度の拡張される。
温度の加度を
温度の
温度の

アイス 鳥羽式氷削機 一般でおからせする、地方を設ける。 というます。

マリチウ 自 宅

根

の別には動んで此の歌が好



カナイフー クラブれ、液 ド(王侯臨時は間) (正價四十錢)

クラブ乳液とカティフー 配合した最新最良の濃厚美容液が種の皮膚栄養料を主要成分に……の乳狀美身料を主要成分に……

皮膚美を養ふ

双剃

高標準たる名に背かず により切れ味益々好之斯界の最 ト剃双は、新型チレツト剃刀器 双 最 界 0 準

東京日本福医本町店

0.38(A)

ラキサトールは 常習便秘者に で来さず排便亦 て暫

配の中に、説太の一行は、取を をらですか、もしく(今野は、El か、うちの影響は、ことりともしと上際難つて、敵太は大月に取 うを歴やアがつたのかな。それ んでみても返事がない。

大連霧島町八五

本塚谷森

医学博士

神谷町十二

七一究

九二 香香

村田 新田 本注 安洋 服義 神洋 高限

一郎

者が蔵院を得たる影雕質蔵文も学教教つて居る事等等一散る影味し、髪に生産器をが野子の影歌たる雰囲の事能、紅躍遊化の影響、気が歌子の影歌たる雰囲の事能、紅躍遊化の影響、気が動力を影響がある。

專

いあみた

汊尿器科 皮属梅毒 レンドン科

六五0二番

大連若狹町三(西通入口)

(非寶品)

◇無

呈

飲太は突つてチラッと見乍 佐克医院 法連信幕町丸 0 為速町「停留所中旬

の代金別番小包は

・説明書添付 ・

イリツク属空水治器 傳覽會名譽金牌受領

金五日科衛民地五五日

斯界の

だぞ、油脈をするな」
と大きく願いて、 つらなど。兄者……」 一同は継で無い

り香のしか懐 る殘もでまつい

んだぞし

ではならない、不自然行う、温度に食いを取り、生活があるくなることに質がかなくなることに質がかなくない。不自然行う、温度になった。 阜老、貧血、萎縮、機能減退者。

を デー 転の者般完成と野がせられる 製造をの成功を動の学的、デラリ を ではまるに対し、激速な

を称、耳痛・神経臓能・微管 る

洗に

る天下の優良品 安心して使用出産 本機は新界の権害

元

書大九〇一川里新聞

Gillene

C (-)

大

連

港

0

迎

塔

する事は軍縮協定の有力なる機されて居り、これを俄かに観念されて居り、これを俄かに観念

軍権小本會議延期の意向に既

同は一切口を

日

海軍富局の

意向左の

ス本年内に開催する可能性が稀て語るが如く、歐洲の■勢に鑑

米國務當局 切語らず

日ラウシン



スコッチ・ツサスキ

商業移住團 の少年達は何れも日章

·庫倫間 極東政策の 鐵道建設 一鐵道ミ

に押し進まんこするソ聯の遠大なる極東政策の重要なる基準となすものとして准問される て新疆省の増城ご伊黎へ一條の新鐵道を建設すべく試験中である、此等は終て満洲で支那でへ側面かある、右線は「九二六年ソ職が外撃古共和国政府より製造を建設すべく試験中である、火職は奥にトルクシブ鐵道から分岐し軍事上、經濟上頗る重要なる意義を有するもので、取下數穀が繰及び支那人、郵戦人の許力數千名をテタに製中しつム軍事上、經濟上頗る重要なる意義を有するもので、取下數穀が繰及び支那人、郵戦人の許力數千名をテタに製中しつム軍事上、經濟上頗る重要なる意義と有するもので、取下數穀が繰及び支那人、郵戦人の許力數千名をテタに製中しつム軍事上、経濟上額る重要なる意義となすものとして准問される 軍縮會議は望み無 米國官邊、意嚮を洩らす

に割する期待と以功を「臓」つたに削つたのは、來る海戦を輸行というない。 本る海戦を観音 延期には反對「我當局態度」 されてしまい、本年内に倉藤を開 く思みは殆どないであらうとの窓一態に入ると観測してゐる

と述べてゐるに過ぎない

二國為替制度

大田塚。同國の大統領破滅に伴っ大田塚。同國の大統領破滅に伴っ 友好を希望 サ國新内閣

適否を研究

ター制は行詰った

町田商相語

・ハルナンデー・マチネ氏がその機 知によれば同一では三月一日式の内閣吸組の通知があつた。その

の如く離つたの如く離つた。日日報回道の西陸につき左 最近における範囲の貿易政策は

外國から購入して製品を輸出す メリカのハル屋 住紙に行語つて来た。原料を 行かればならぬ 大僧パーター・システムを目標 異つた最も

して遠からず解消の運輸に影歌すると、歌、民歌版は前上の問題とみ、歌、民歌版は前上上の問題と 調查局官制

米政府

國防上から

門を開鑿

を議員が置次定の事情を説明し 年後二時より開き、隣田部村よ 年の一時には、「大田部村」 田、高橋兩相等田牌、二十五、交通長以下交通、政府順よ 二十五日級國通」內閣審議 樞府審查委員會

輸出統制

運河常襲の目的で新たにバナマ■ は米 ■ 政府の一部に於て現在のバーある指標在目される
・ 「東京特電二十五日曜」ワシントーより土地を購入し得る機利務様に ・ ナマ運河・本では國防上危険な質

ハナマ政府に交渉中

倍々鞏固を加ふ

鄭國務總理等語る

天長節観点式に 空中分列式

日はこれが違行派が指揮の下に代々大将指揮の下に代々大

機關說反對を

要路に陳情

ム議員團 五月末頃來滿

信州鄉軍代表

上京

名は、先づ明台歌 歌と歌歌 歌上京した智州郡 ※初妻歌 野上京した智州郡 ※初妻歌

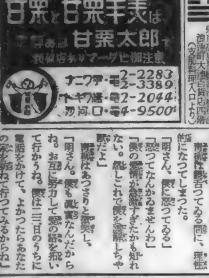
学師が博士の著れ、同五年のおい、同五年の

離りなる東

りなる東洋東祭師は二十五日午後りなる東洋東祭師は二十五日年後

定例次官會議 が職職に成づける 人の際低ではある

中、大宮倉養は二十五日正午首相宮野、大宮倉養は二十五日正午首相宮野、大江松野水路より墨濃設 省官吏の歌窓夢祇金の瞬出は各様都り割見の交換を行つたが、情況の軽告ありて複合水路情報 自官吏の農災養捐金の献出は各 特にとある▲こちらはその能りで も先方が学人称戦を引上げたり配 國日本の經過激が殿田外交の板めになるまい▲腹粋國支那と工業 激な個世帯をつかはれて窓ち日支かものになりさうもない▲好い加



れるお豆に努力して慰の路を扱い「明さん。飲も、戦略なんだから 行かうね。既は二三日のうちに

五. 天長節 に全部釋放 後藤映範ら十 陸軍側

四川油田擔保に 英支借欵說 カドガン公使否認

を展について であった。なほこの通知に動し満 別國外突部からも二十四日事重な 機響電報を凝した

『北平二十五日韓國通』駅方蔵への情報によれば、英支間においての情報によれば、英支間においての情報によれば、英支間においての情報によれば、英支間において 稅關長會議

重應説につき有吉公司東京特置二十五日

將氏重態說

有吉公使語る

歌が解消を持出さなかつたことは 歌が解消を持出さなかったことは 歌が解消を持出さなかったことは 歌が解消を持出さなかったことは 歌が解消を持出さなかったことは 歌が解消を持出さなかったことは 民政黨内の意見有力

が解消を採出さなかつたことは 動を則が當夜を以て本問題を打 動を則が當夜を以て本問題を打 ので、考慮の蘇地あるにあらず やとの見解からと、更に民政則 での見解からと、更に民政則 では現内閣側係に捉はれ でもの見解からと、更に民政則 でもの見解からと、更に民政則 でもの見解からと、更に民政則 でもの見解からと、更に民政則 では現内閣側係に捉はれ

時に疑用せず機能験として民政策の第内事情は政友が内 者は二十五日 歌文 砂糖・田 歯 殿地での 七 町 二十 重 を 1 十 セントの ジャ バ糖 を 風神 と して 支 那 向 3 田 を 行 へ ば 一 ピ クル 八 個 以上となるので、 支 那 何 8 田 値 と し 以上となるので、 支 那 何 8 田 値 と し 以上とすることに 明合せた

▲北京省氏(満洲國際務遇理)二十五日午後六時三十分大連録者あじあで來連、直ちに是ケ浦ヤマトホテルへ成式委氏(南洲國民政部大臣)同上 本氏(蘭東局高等顧長)

もいひ自覚せずとの説と 反然せずと

して」して」と本當の意味で要

胤 卿 先 住 (通信電定原語) 一つたつて、あんまりとつぜんどうやなんか自分に感じてはいない」 すぐし すぐして 製を指んだんで 運命

鑑定學院 ったって、あんまりとつぜんだつ 変の膨脹があるのおやありません で戦を聴舌つてゐる際に、理性 お豆の愛が製造な

氏(開東州職業景部長)

月

十一名は劉名摩刑務所で服役中で

、現在政策には、原と順位してゐる故、二、三日中に引法、陸軍兩大臣の指合せの後廉城既氏を陽離放に內定の際、陸軍省では後廉氏のみの陽縣放に改統だつた正本首。書記官は小原法相、金山次官等と偶響放か密かを打合せ中で、量に収容以正本首。書記官は小原法相、金山次官等と偶響放か密かを打合せ中で、量に収容以正本首。書記官は小原法相、金山次官等と偶響放方を記法省へ电離し来つたので、

思つてるる際、自治的制制としたいとながけ自治的統制を態態したいとなったい。出来るがけ自治的統制を態態したいとながけ自治的統制を態態したいとない。 貿易政策 はもうパー にしても我倒のにしても我倒の

政・民聯携は結局 解消の運命

五月末渡痢、奉天、新京に數日常でして満門園の経験、砂治情感を記して満門園の経験、砂治情感を記して満門園の経験、砂治情感を

「悲しいんだね?」

「おや、どうしたの?」 「何んだか解らないの」

支那向砂糖

明士は、慶分心に餘裕をもつ

南側は度分異さめた**配色で、**

「ちゃ、どうして?」 そう云つた明子の眼には、顔が 「何んだ、明さんは悲しくなつた 「どうしても」 「僕の無持ちわからないの?」 南機は囁いた。

「愛し合った者は、愛し合はない 「■さんは、僕を誤脱してるる と同じやうな形式の中だけで ゝえ、誤解なんかしちやるす

愛と破壊(一四) 愛戀十字街 倘本八百二輪 六

で交へ八月の異新に野する順東歌 した 歌をは二十五日協邸に桃園福を湖 で、野に都本水路、米田敷粉局長 他親婆す で、野に都本水路、米田敷粉局長 他親婆す を交へ八月の異新に野ちる順東歌の博 関屋主計 で、野に都本水路、米田敷粉局長 他親婆す で、野に都本水路、米田敷粉局長 他親婆す 板垣参謀副長

賀屋主計局長 來速中

蓋開けの籠球リーグ戦

近信局 院談以来はじめ 近信局 院談以来はじめ

窃盗を 解いたと歌く四

臺灣罹災民を救

大連で義捐金を募集

けに変影者機数三百七

競馬ファンは

華以上

混血兒怪盜

大連丸から上陸した歳を

水上署の警戒網へ

| 大五年以上のឈ寒者である

- 、金額は確認へ物品は取扱はず)
- 、金額は確認へ物品は取扱はず)
- 、金額は確認へ物品は取扱はず)

一十五年

三百七十名を表彰

の情報ありたる當め、同窓域は出場に製締しは下窓好となり総勝甲である、よつて低明、同地方民は一大動播を来してゐる、なは、頻、触れる販戲は喉咙のため多數態機動の部の部る所によれば販戲は微九州を強むとせる三百七十餘名のもので、復概能八、無九の部る所によれば販戲は微九州を強むとせる三百七十餘名のもので、復概能八、無九の部との情報を表現してある。ようて低級、「大阪」とは、「大阪」となりに、「大阪」となり、「大阪」となりに、「大阪」となりに、「大阪」となりに、「大阪」となりに、「大阪」となりに、「大阪」となりに、「大阪」となりに、「大阪」となりに、「大阪」となり、「大阪」となり、「大阪」となり、「大阪」となり、「大阪」となり、「大阪」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」となり、「大阪」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」となり、「大阪」」は、「大阪」」となり、「大阪

浅子署長語る

關東局の重要諜報

途中拔き取らる

公文郵便への魔手しきり

皇帝陛下御歸滿 般奉迎者の心得 でのふ大連署より發表さる

(四) 陛下御通過の際は脱回を確 をなすこと (五) 酒氣を帯び交は喧䴘の宮動 を辞者は選 (九) 族をふ

横洲関皇帝性下の御英妻を再び拜

除を一覧により二百名の特別低温

警官濱職事件

五日職然と陸野来連、開日田

世六日寺

紫地において演奏

り正午を飛ば指定地外の使用も自撃記載の通撃期間数は午前三時よ

大連の御警衛陣

港五五五四四三 場 橋五五五四四三 明 橋五四四一五五二七十 迄八四個九二七十

二百名の特別偵邏隊

大警戒陣

高勇吉氏

三等一百円三水二等五百円一水

以下七等まで、四四等五十円

切品大賣出

等…五百円當。

尿品

二十五日來準

著官隊が大連水上署に到

奉る大連市民は早くも思謝を以

行を自由するに至ったものであ とっなり、二十五日午後二時大同一つかり度脈を飲かれて遂にその一番四様、山楂子二様を数上するこ

宮廷へ献木

大連水上署より職意局、職象州職、各警総署等に概で機器の公交動機が名域先勤者以前に於て何ものかに脱野され、內部の影響が投資された高等課課報在中の公文郵便が同様の手口により、破りごられ、在中七通のうちられてあるが懸事が搬資し、水上圏ではその吸入感謝に歌声となってゐるが、二十二日間東局より大連水上署に宛ちられてあるが懸事が搬資し、水上圏ではその吸入感謝に歌声となってゐるが、二十二日間東局より大連水上署に宛大連水上署より職意局、職象州職、各警総署等に硬で経送の公交動機が名域先勤者以前に於て何ものかに脱野され、內部の談報が投入連水上署より職意局、職象州職、各警総署等に硬で経送の公交動機が名域先勤者以前に於て何ものかに脱野され、內部の談報が投入 で、本年もまたライラッタ二様、 を以て眺ぶすべく昨年地震祭を終して陰嶽武を行ふ撃忘れれ一般側段の脈心を貼めつゝる 高が、自都戦略原新京後脱市公園 はれ一般側段の脈心を貼めつゝる の大事業の記念として昨年 ではこの大事業の記念として昨年 ではこの大事業の記念として昨年 に動声は新角及び扇野土灘脈の地 のったが戯く駅ボ棚にして のったが数く駅ボ棚に ではこの大事業の記念として昨年 に動声は新角及び扇野土灘脈の地 のったが戯く駅ボ棚に ではこの大事業の記念として昨年 に動声は新角及び扇野土灘脈の地 のったが戯く駅ボ棚に では、 のったが数く駅ボ棚に では、 のったが数く駅ボ棚に では、 のったが数く駅ボ棚に では、 のったが数く駅ボ棚に のったが数と、 のったがある。 のったが、 のったがある。 のったが、 のったがある。 のったが、 のったがある。 のったが、 の

水上署躍起となる

來る七月三十日・ 盛大な除幕式擧行

復州各地に匪襲

小學兒童を拉

致す

徐九州配下の二

白七十餘名

雞子窩管內龍

る撃の計畫顯

し小學校児童二

高級所を一覧に製蔵する記載あ

公蔵に張野変が大臣、同国都要終 兩勇士の記念碑

無名の 義金

ード發表會

全くと、変にした流線型で型でででいたができない。

来月九日判決 治療器

賣出期間

日日

十十九七日日

履

三五型フォ

和核豫防

宣傳デ 金州のプロ

お祭衣裳剤

三十七日ョッ 仕立

名古屋帯、半コート

連鎖街

草羽機、變り錦紗羽着尺、訪問着

料奉

(期間中





二千萬里、一ヶ年の保険料は七日めてゐるが、釜島の登場対談一談 三国で、今回の最後死亡者は二千 第四で、今回の最後死亡者は二千 生保支拂額 茶業關 係義捐 見いるを戦中、新竹各州知事宛 震災見舞電報 東市では東中地方の大震災に對 龍球リ

時六分より大連一中屋内標度

快楽部 (耐人チ

◇無

最初の榮冠業余へ

出ってはより回じていて、ことには「ことには、これにはない」とは、これにはない。

東三・二八五八番

桃色禍の谷本氏

遂に懲戒處分へ

61 332

裏口の泥

州辯護士會では除名

床屋さん盗まる

大百智イーグル戦は午後 廿七日中止のYMO

街鎖連連大 三電 町日春天奉 町野吉京新

各眼科醫院指定眼鏡調製 門店清眼 な 堂 て

伍東、里見

再び御目見得

遙羅舞踊團



が▲既行師(イヤな高楽だが



説明者……と**砂説明**品ご定評あるレコードでお馴染みのロマンテツクな映画説明では天下一 で時代劇説明では日本一の名臺灣

堀内 泉

鴨綠江製材髓太連支店

建約募集中の記念特典付土地 情家屋分譲は経大な人氣の内 に既に難約濟さなりましたが 第二期計畫に着手致しましたが 現今の内なれば多少の設計變 更も應じ度いさ思ひます 記念特典付の機會は再び來ま

湖近火御見舞 社 大連市上キッ橋 東進所 大連市入船町二番地 製造所 大連市入船町二番地

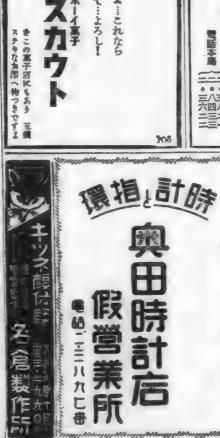
三五年型 ョリ ハッグ・端止金星

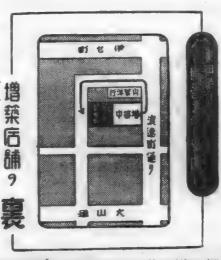
営業所御知らせ

野二・五二二〇番

八ナミッツ マシセイ







田 時 店 主

ませんが何卒御容赦 便裏の週畫此き上御慶し をに間間夜の從げ最質た

とやがて僧正が眺ねた。見望し

だから祝用りの一般から祝用りの

今になつても

とばかり受け取つてるたので、 母親是最多近2



錢十三下階

(493)



吸近の快作品 上せず

ノ氏・ライラ・リイ嬢・カールドルフ・ヴァレンチー・サイク・リー

蒲田大作縣 サウンド版

作大旭度年本社會高映ナトエ大

木廠 見舞

電話2.2990 举

謝出火御見舞

毎日のお

展膳に

不意の御來客に

大連郊外土地會社 **水質で家を建てませう** フム…これなら

字を盛りと咲き l 라 入連市西広場 田田 は

晝夜三

ほころ万誠の美牙樽

電話2:



日產株定期上場

認可さる

五月一日から取引開始

(日曜年)

配欄が深まり利

説別に比較すると(單位画)

目下着々準備中であるが

需要期を控へ

石鹸類の協定値引上

営業者對策を協議中

春物は安氣配

夏物は强含

四月大連の吳服場卸値 田本語の歴史を主がいので現場を以て大の歌鵬をなって大の歌鵬を見て居る、その中でも全の歌引を見て居る、その中でも全の歌引を見て居る、その中でも全には「戦」を放ける。 たいので関係を表して見るので、「方内地工場の生産」と、対り数額のトップをなすベルベッに、一直では、一直では、一直では、一直では、一直では、一方内地工場の生産」と、対り数額をなせる奉天地重洋行で、自己がら、一方内地工場の生産」と、対り数額をなせる奉天地重洋行で、自己があり、一方内地工場の生産」と、対り数額をなせる奉天地重洋行で、対して、一方内地工場の生産」と、対し、既に融高を観り、対し、大道を勝いるが、は、対し、大道を勝いるが、は、対し、大道を勝いるが、は、対し、大道を勝いるが、は、対し、大道を勝いるが、は、対し、大道を勝いるが、は、対し、大道を勝いると、一方内地工場の生産」と、行られた他が、古り、大道を勝いるが、は、対し、大道を勝いるが、は、対し、大道を勝いると、一方内地工場の生産」と、対し、大道を勝いると、一方内地工場の生産」と、対し、大道を勝いると、大道を勝いると、大道を勝いるという。 引の最大障碍なので近く再引下

州内鹽の製産高

二月は激増す

昨年に比し約百元

味噌関油 | ララベース | 1元5~天六 | 一般順質者居まで態要の擴大を見白 | 米 | 17810~5六 | 7<10~810 | 一般時間者居まで態要の擴大を見白 | 米 | 17810~5元 | 人年度 | 个春に入って | 4 本の行きを示し の如し(一反、モス銘仙は一正の の如し(一反、モス銘仙は一正の 値段)

そス小紋 五関七〇人六関八〇.

九、六七八、〇〇〇

会に接したので、会能設備を一株 一会に接したので、会能設備を一株 一会に接したので、会能設備を一般で設可电談中の日本産業株定。を以て五月一日よりで関係がを行 か上輩は此の野会版大使の談可指 小事となつた のに表したので、会能設備を一株

北鐵の公債發行は

海外為替に影響せぬ

東京縣 一局橋藏相演說

宮田喜代藏

古著

(四)

滿鐵消組九年度賣上高

販賣原價高 ご組合員の増加で

八年度より二割五分増

セントの部合で行はれてゐる、而 が緩低、選配してこれら配配の仕人は瀟洒六 味から鑑録

数量、品質の統制あるため、整調が総行、洋反物には生産発者間に

示現することはあるまいと見られ

仕入 方掛に就いては消耗

七百萬圓を摩す

組合長、役員改選 大連金融組合定時總會!

時より大連監督部所に於て総七を消滅したが、欧畿の結果出た地位を持ちり大連監督を持ちて総七を消滅したが、欧畿の結果出る。 一、組合長敬道

思想受難史舞五郎

の挑戦

河合築治郎

事野 正剛

占

物質微騰。一年二、評議員並に監事改選・一十四日現在一、定款の一部變更一、定款の一部變更一級皆

物價微騰

全滿主要都市

柳 一 畑中佐太青、莊 ・ 大引け を 定・ け

品。

正伊德藤

年 首谷北斗星

か田口卯三

菊池寛と女

八養木堂の井柳太郎と川

阿部眞之助

植原悦二郎

無常 清佐

東京二十五

0

松崎見

部問題と政局の危機

出土場

御機嫌麗

御召艦

比叡

大連に近づく



天長節祝賀

會に

ラデオ記念的話などの記載が

皇帝陛下

下臨御

軍司令官主催

日葡新通商條約

近く締結さる

編稅統制の妥協好望

笠間駐葡公使談

は「青特山脈」の誤権

友好關係を强化し 満洲國の發達援助 五月一 日南司令官宣明

配代表、三百には全滿各地の官民代表の懇談會をそれら、開催、 Aに利害を超越した 友好關係を保つべきことは 今や日滿兩國民の間に無 | 一世 | 日満 | 南國民に日満融和の一體を痛切に

「職ぜしめるものがあり、

オる。

陸軍から

日滿民衆に徹底を期す 満洲國側では感謝の行事

られるものと見られてゐる、噓つて滿洲國皇帝陛下御歸還さ共に日滿兩國に於て開かれるこでは皇帝陛下奉迎のため來京する軍管區司令官、公署長、總務廳長等の廳で何等か其際

至滿一齊、來月十五日

感激せる三千萬民衆 一會開催

大日午後十時三十分大



皇帝

陛下を奉迎す

職者の結果、今夜御

着」に至るまでの順度とどこは 進行、午前六時五十六分大連勝 て御歌響、御先響の低にあたる都 進められ非常な好成れをもつ



正氏(満洲工廠顧問)同居上新京へ 司氏(廣洲中央銀行理

等二十二日はの知じく歌響になっな所であります。

國務總理大臣 鄭孝胥謹話

制能に配る御多地なる御日本を御港ほりな

横洲国皇帝陛下には、八重の職

されました記るる如き態感に就して

せられたる次献と八曜英し監刑野いの大

が騒古の御祭事であらせらるることは御祭

型の御殿部より下は摩々瀧々の人民に登るられた次館ではありましたが日本部画に於

が近く上京の豫定である。 は限、事天は数、大連は養職・新見 路も御港なく 構造部史上の御像港。

要人上京

の上に一般の御工夫を添へさせ給いたることは唯す志もないことでありますが歌下側

関を結ぶ聞き機となり其談響す

を吹き者ばしたといよ。 酸の膝の日満日和を期待す。

賀屋主計局長

はこの感販を秘謝に記念し日

識に堪へぬのであります。

にし東洋中和の職立を所持しずいて世界人はこの臨販を水源に記念し日浦南部書の称

等下の厭厭に歌い外、動類の厭厭に歌ゆる。

を加田重新駅 | 季節中座町からは多分| 名数前頭の人動。今 | た恋恋した。尚は新聞十五名の頭の人動。今 | た恋恋した。尚は新聞十五名の通】 | 東東では | 慢動観光の部長調査話を入れる 調査官選任に決す 腸暖の動中の吐ボルトガル公使金

正氏(陸軍省無要課長) 関上來連)関上來連

さず、夜中に編み出し眠れない

込めばよいからお子さんの手で りに揉みはぐすやうにして擦り

肩髮り

結構です。キレイな前日のク

連驛御發

奉送迎準備

の國家議) 同止午發

知れず痛みが取れます。
現病者や長布

ミ(機痛には頬部)へ擦り込んでロメディルをウナジとかコメカ

と無的に多

明が重い、コメカミが錐で探ま

れるやうに無いといふとき

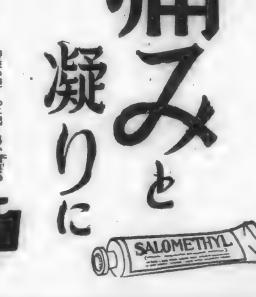
の効力を一層強めるためサロメ ・ の効力を一層強めるためサロメ れて置ります。これはマッテー 時院の整形外科、柔道整復衡、











神医痛

(E) 二十六 役) 間上

ルで進めて)サロメチールを丁編みに番上り後(又は楽しタオ



や心臓に随る心配がありません際されます。内服薬のやうに胃

異に置された、強きムシつてお

本日十六頁(銘)

大統領主批問受許を製室氏は叔十大統領主批問受許を要認し二十六日出紀が発える

警衞に當る

を盡し

頭の豫行

はるびん丸二十七日午前

田邊商店

審議會の 生くる途

渡洋作戦を根幹に

べいの流脈根を否定せぬかざ

開宗の聖日

相

注目すべき米國の態度

說

演を員合問題、治外

課税問題の方が先に考へら一補大連強

訪日の目的は

廣く意見のな

山海關で殷同氏語る

經濟國策決定後

對滿投資實現

軍の攻勢轉換

B

陸相渡滿に期

待すべき事項

剿匪頓挫の影響重大

苦境に立てる蔣氏

の情況の共産軍

中らしいが詳細不明でも主力の後を追び逐次順

淋病消温·宇留神湯

日本橋薬局

日午前、午後に亘つて州東京

御家庭での鳥頃は

絶對漏らぬ完全保證付

マ

トは

鎖

街

元氣

電話三·二二三九番

奥様の御手で

連月入荷の新型力メラ

村洋行

ラの店

四川剿匪の狀勢団

内地財界の

競方針が樹てられて障。これを るやうだ。日瀬経濟會議が設置 されて日本の製画に湾回策の具 されて日本の製画に湾回策の具

昨日歸連一林滿鐵總裁談

速に上つた北寧家路局是股同氏は『山海開特電二十六日報』前日の

八時まで〇十一月二末日まで午前~末日まで午前~

奉天、哈爾濱(I)

刺匪軍の失敗とその影響 萬元の新財源を得る語である 満十五周年記念祝賀査を開催する時から大連電気遊覧に於いて創刊 周年記念祝賀 人連新聞十五

新に地方戸別税を新設することと 士高月約八

板

コルタ 紙 怪動車用コルク積船舶用コルク積

コルク部

ムーロフ

生徒募集 Joy of the Taste

世界各國酒類

食料品

W

店

英和タイピスト學院

地方戶別稅

29日星女浦

ロピーバーンズ 1 打 グレンマー 2 打

栗最中 箱入100ヶ

宅の店の提供品です

御携帶用の お花見だんご

お 赤 飯 御一人 二合 打店 御 組 合 せ

•16

奉天でも實施

(場広西)五三通西市連大 番ー三七五・二電

各

地名産

各

店

發賣所

法人滿洲文化協會

振替口座大連二八五〇番電話。國一一三七四一番

(圓八十億通譽)圓 十···帶屋 古名 織 (圓五十億通譽)圓五十···帶屋古名織級高 費買料送仕奉到十四共芯立仕

愈々出來!待望の新地圖時局多端これだけは是非至急備付をす

资 定

各葉的

四五八

+ + 镀镀镀

日滿經濟委員會は

北鮮航路の

法權撤廢は

急激には行へぬ

の異動は二十六日附左の如く破骸、『新京電話』関東州内中等學校長

左の通り欧正來る

通知及び呼出取が時間が

連合強制器

中等學校長

經濟委員會は近く交渉

谷参事官の歸任談

上旬成立

日から實施

タコマヱンヂン

縮尺二百萬分之一

新聞四面大•十色刷最高級

語観査用として二色刷の「素温」

ト掛ら便利

金の午後七時から二時間

吉澤桝谷兩氏出發

電信・電話の

取扱時間改正

刊月

日より三月二十日まで(後期)の一方ること」なつた、「場は沙河口すること」なつた、「場は沙河口の場合」では、「は、一方のでは、「は、一方のでは、「は、一方ので

人が昭和の日

日まで(前期)及び十一月一

支那語講習會

関東州殿にて

全地形を色別ごし産業經濟 しめてあり、

年四月版は改正省別は勿論 る。現下の重大機に際し本 地圖を座右に 調査圖と満洲國案内圖さを 情研究上至便の大地圖であ

洲國の智識を涵養せら

た細密地圖である。特に十

こして溝鐵會社が編纂され

本地圖は正確精緻を第一

不安の舊從業員に 白系の不歸國勸誘

樂士を懐ひ慕ふ

社といふ如き適當な案内機構が出れるである、しかし監覧自動車會のである、しかし監覧自動車會のであるから旅行者は今のとこ

京を日度こう(ここ) である。 では今回吉林省内に於ける漁業島制造に無額、収穫後患。 漁村としての構築に動する基配調査などを行ふ事となり阿郎 避夫氏以下一行四名は來る五月七日より、血験の十二日間を がある。 がある。 では今回吉林省内に於ける漁業島制造に無額、収穫後患。 気を日度こう(ここ) である。 では今回吉林省内に於ける漁業島制造に無額、収穫後患。 松花江漁業調查 五月五日新京を出發

退職手當を繞つて亂れ飛ぶデマ

越部隊司令部前を哈爾灌蘭路局部を見、新市街に騙り大直街岩路を見、新市街に騙り大直街岩路を見、新市街に騙り大直街岩路を見、新市街に騙り土の職友地

近く視察に來滿

【事天】目下日本各地を視察中の

観光客携帯品

魔近内地へ観光者の増加する折柄。【奉天】院は青安春に乗つて……

満洲國の官吏は

地方事情に通ぜよ

視察に来錦の 中川男爵談

教育の普及に関係とし際氏

日 は一般にいる形式をから中では、アウリスト・ビューローは、
「は一般にいる形式をかぶ年に除に多から
「本の見込みから哈爾濱堡路局、
力・竹を通り松花江に至る、
たんとの見込みから哈爾濱堡路局、
力・竹を通り松花江に至る、
たんとの見込みから哈爾濱堡路局、
力・竹を通り松花江に至る、
たいの見込みから哈爾濱堡路局、
力・竹を通り松花江に至る、
たいの見込みから哈爾濱堡路局、
力・竹を通り松花江に至る、
たいの見込みから哈爾濱堡路局、
カ・竹を通り八風をぬけ

遊覧バスも出来る

花なくて、根 **州公市** 內田芳江氏

聯官憲の暴行

八は發狂・妻は自殺

日本女性の敷収

・ 作札 ・ 作札 ・ 作札

松花江近く増水か

は果して將來に如何なる運命を招くか期待されて居る

興安嶺一帯に降雪の快報に

喜び勇む航業聯合局

私はあの時の答



新設して教育機関の充實を開るこ



験がおあり

四月廿五日 金 七〇二〇六二年前 日 累計 金五四、二〇九回六四年 金五四、二〇九回六四年 金五四、二〇九回六四年 金五四、二〇九回六二年 1 日本屋洋服店郷二十周年記念

金五四、九一二圓二六錢金五四、二〇九圓六二錢

東京

ります。伴しその素質は従来極め

號七十三百四萬

保甲連坐法を實施

民政部清水總務司長談(中)

整備されて行く滿洲國の安寧

不良自衞團を解除

上面に教養訓練に書らしめてをる

銀價暴騰

天井知らず

正で目下東京社径のソ聯道商代 なく軍にその調査報告書に意見を 調査割は約六ヶ月日本に際径の 査するのが18的で品貨設定の撤腹 四日来朝したキセリョフ氏等ソ 取物智識目を現地にあつて視察調 のであるが、調査圏の目的は等ら受 にあれ、調査圏の目的は等ら受

銀買上政策の - 二十五日左の如

緩和を要請 ■ 基氏は二 しました PRE となるであらう 施公使國務卿を訪問

火災生命保險 滿洲視察團 日產二億圓

ソ聯調査團は

六箇月間滯日

基礎調査が目的で

購入決定の権限なし

日四十二車の提密に就い 満鐡は損害賠償

営口驛の棉實火事に

七三月末返に合計六十三萬三十 活況を呈す

電業公司移轉

五月豕浦シンヂケートー

銀行團滿洲

視察團

^合理的販賣機關を設け

新設消組を阻止。

全滿商業團體聯合會の決議

月二十日より三十

好勢を辿る

下岐の商

=

三八四五 校校校

現在、大連におけ

呈してゐる(〈各四十三瓩入一以小賣檀標準左の如く前旬來保合を 九二〇

がれ天涯の巫客/な ・見たところで、こ ・見たところで、こ ・、以馬膝馬政策の ・、以馬膝馬政策の ・、、、こ

0

へと、記者は思ふのである)

単純化されるのが影響をあることが

船舎のマ

河のマークは大連の

添洲商社のマー

軍位十餘

香油



同此段御通知申上第二十三日午後十安十ン儀永々病 一時五十三分永眠致候氣加療中の處藥石無 即ち在

上海は恐慌狀態

皮消運動に對する決定 合設立に帰する件合設立に帰する件 二、總局の消費商合設立に関するに関する件 反消運動の一進展

護文を可決し、二十

大連の白米

定期唯合高(廿四日) 大豆 六三六〇軍 一四五軍高級 一〇七二軍 人四五東高組一〇五百和 二五百和 三五百和 三五百和 三五百和 二五百和 十三十七日)

新東橋騰乍ら 新東橋騰乍ら 新東四十龍高、新疆七十 場高、新第二四二十龍高、東京短 原八十雄高、新疆七十 場高、新第二四二十龍高、東京短 原八十雄高に寄付き新東は四圓橿 の新値を切る好勢に伸り難い気配 を入れた必當市は積極的な質物も を入れた必當市は積極的な質物も を入れた必當市は積極的な質物も を入れた必當市は積極的な質物も を入れた必當市は積極的な質物も を入れた必當市は積極的な質物も

三二

切 近

意富 本天淀卑穴 電話長三八人口 有望機 満洲取引所仲買公 有望機 満洲取引所仲買公 の 第詳報 (ラツ遠近不問) 軍事公債 世高價 金 公 品 長公に

回回山下活館





振興に

日先物九月十

市場電

株式

(廿六日) (廿十日) (廿十日)

クレヂツト設定

日蘇貿易の

1

別意覚付の低に驚る昏めソ職政府【東京特置二十六日撃】北新代假 の氏名 ソ聯調査團 仏格一處四千萬國中九千五百萬國

休日明け特産市場

したが一行の氏名左の如 るるが、現在転職は外院を利用し 能雨ありたるとこのなほぼから 場は二十五日 更地に少量ながら 場は二十五日 更地に少量ながら 奥地天候不良で

大新東新 大新東新 2010 1 2000 2010 1 2000 2010 1 2000 2010 1 2000 1

此の綿業貿易策

總計十八萬一千圓 六、〇四六圓 を新しい変質としています。 本語解析が会にはいば、現在に従れ、タワ脳定及び発取できによれば、英國ランカシヤ織 の中郷製質影を見った。 では、大阪国ランカシヤ織 の中郷製質影を見います。 では、大阪国の加く

對支砂糖輸出

場にかて移

々たる顔觸れ 一般 鈍調

◆定期前場《銀營》 ◆大 元保合》單位順 四月末 經過 與過 與過 與 四月末 經過 與過 與 四月末 與 四月本 四日本 四日

○神户屋株式店

一上国墨を持つた が以後ジッ

| 出来高 (銀製業・銀製

和来高、翔野東百五十月 ◆現物前場《軍位變》 經對金級對洋金對漢 11公② ~ 11公② ~

市

沢(サ六日)

東京株式

投資の株の研究 四月十二日銀行 (毎月二回・一日・十五日銀行) 右御申越次第送呈いたします。

東海西瓜 は最盛期に入り 東瓜 は州をの入荷にか」は 南瓜 は州をの入荷にか」は 市町瓜 は州をの入荷にか」は らず下押し商狀 らず下押し商狀 は入荷少量に變動なく 生姜 は入荷少量に變動なく

大連卸相場(元十)

大阪棉花 泰约 泰约

リついてある▲それだりついてある▲それだいで浮腰の鑑引かれないで浮腰の鑑引かれないで浮腰の鑑引かられないで浮腰の鑑引がある。

皇帝御歸京鹵簿豫行

(新京驛前)

之と同時に哈爾濱銀路局は廣かる、保持する意気込みを見せてゐる、

印象づけられた不安をこの際一

竹中哈爾濱鄉

女全を聞ることと

日

たりこの手薄な成

至る。處に橫

化より新緑を!

観櫻氣分充分でない中に

も葉櫻ごなる

設する事になった、配して本識者

ものは午後四時

子抜けの感を興いている。

接收以來の無事故

の安東鐵正山及び版大艦機断一行の安東鐵正山及び版大艦機断一行

今後も絕對に保持

濱綏線の匪賊對策

多印刷般

| 春山 | 桜山地方 | 所所にお

鞍山公費豫算

第安軍奉天に 凱旋、LM

天】中蔵に亘る計

穀類品騰に絡み

流言擴がる

涌人間の人心動揺す

ありし影時を追感し一线の転載を後午後六時よりかりなるにないて

奉天の招魂祭

の他官民を敷の出

満日試印刷

爲に哈爾濱驛は時に大混雜 富局の辯"何とかする

極むるに至った右に関しハルビン 恐縮

安東、旅大觀櫻團

您々今夜奉天出發

参加者の注意事項

て來た、機關車の故障底容車の連一を演じたため見念る人出述へ人乗った相當激しい非難の勢が揚げられ一驟一列車の破坏と云ふ際とい歌笛

九、四、〇二四 八四八八四 第士の告別式並に接職指導官の 数は けた西郷中島、経職指導官以下入

茂森保釋《奉天》過般總領

岫巖の慰靈祭 得なかつたり

ぎを押しつけっ

これなかつたといふ られなかつたといふ

で慰察祭を行み、明けて三十日

「水らく陰雨がない質め値付をすがあく陰雨がない質め値付をすると同じ図作を

活上苦痛を嘗めてゐるが、更

浪速高女生が

臺灣震災へ義金 自治金を四十一国

撫順の招魂祭

生態並に戦交の魅を慰め記念撮影 ものであると善ばれてゐる る二十日俗感寒節月表忠呼に發耳 出につき一分の引下げは富を得た は無順 在撫日寒戦後後取者は来 最も利用者の多い二十國未満の貸

家。事。講。習。所

健全な家庭生活に備へて

四平街に新設さる

ニ、食事、服装収善に晒する事質

の企てが進められる監長、紫癜所賜的誠へ申込まれる監長、紫癜所賜的誠へ申込まれる監長、紫癜所賜的誠へ即込まれる監長、紫癜所賜的誠へ即込まれる。

天)遗迹高等女學

に秦天川市民金融機能としての質をは秦天川市民からも歴々を強の動があげられてゐたが、動師別合でもこれの動があげられてゐたが、動師別合でもこれがあるたが、歌師別合でもこれ

質利息下げ つ十四未満七分に

みは地方事務所庶務慄まで

京

一味逮捕さる

七日韓国戦乱における満洲・

鞍山の祝祭日

五月一日に春季大祭

を従って木した成骸を繋げ

航空貨物受付

飛行

受付

受付

空の旅行計畫斡旋

日本は内地時間とす

質屋强灰

營業

内

二十九日午前九時

完全な手配

タン一つで

は慰癒を未然に防ぐべく、二十 種痘を施行

ビユーローに御申込願ひます各地飛行場、案内所、ツーリスト

福

(載搭みの物便郵は間京東阪大し促)

新 京發午前 天發着 京 京 行 行 ハ・三〇

□·00

六一五五話電 號三路緯九路經五地埠商天奉

四三三三二——— 九九六五 〇五三二二——〇一〇一〇〇三 〇〇五〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

って匪賊自體が居なくなったの 春の巷

B…・…死人の睪丸を拔きとる!

おいて同十一時

項門

部無費式は二十九日午前大祭 五月一日午前十時

泡を喰ツて逃げ出す强盗

家庭悲劇から美人の偽訴へ

の三重奏

術を張つたのであるが

撃する、十二時 | 休日も書

は青追紙の一味と睨み目下犯人 | 同も悪して何の目的で取り去つたれたものであるが所情北陽署で | 美事に切取つてゐるので、係語一

では更に民衆繁製の になつた、数電話の変数は先づ各股の努力を出ぎつゝる ピード 機悪に効果あらしむること 電影近濱州國家製の版 市一覧に手配を完了するといふス は歌歌僧の 花覧、樹彫歌 一悦の鍵生と同時にギタン一つで全

瀋陽警察廳の新設備

日より向ふ一週間極短を施設さ

五月一日開始

日滿兩首都連絡飛行

脚氣に惱んだが

宮田

胃潰瘍と麻痺性

木 の作形は、く。 一般的の事産・ 影楽または

日

栄養増進の本義 健康者が更に健康に、結核、胃

世のマンの観点以来、その人は
とうマンの観点以来、その人は
とうマンの観点が出来ません。 がに触標を出じます。一次へは ・リプトファンといよフェノ酸の 作用も必要であり。骨格を添るに はカルシウム、酸の低にピクミン しまかんシウム、酸の低にピクミン のはカルシウム、酸の低にピクミン 勝病者が病氣を克服する要決

またにして消化、吸収なる安全な を使く事が出來ません。 を使く事が出來ません。 を使く事が出來ません。 を使く事が出來ません。 の作用もありますから、胃腸の弱に がを充分に消化和用させる實格 の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますから、胃腸の弱に の作用もありますが出来ませる実格

をですから、逆に「魔景は口より、関連し、口は何度無を防ぐとい

維方も健防の注

京三〇〇四三番

では変すれで資かして一個にています。素店に品切のせられてゐます。素店に品切の

絶對健康に必要な

恒壓。 恒反應を保つには 件。

からで、もし一度でも外が能に異状を抱え、其の状態に異状を抱え、其の様子れば、新腹代謝は萎縮して経ずの様子所と 常に同一の

山澤はに加州 であっても、 一本のであっても、 一本のであった。 一本のであった。 一本のであった。 一本のであった。 一本のであった。 一本のであった。 一本のであった。 一本のであった。 一本のであった。 一本のでは、

| 「本語などは、 | 一日本の | 一日



幸長

神经

と誰人へも見本小板を無代で送つてくれます。

四丁目世四番地養命酒本鋪出張所へ八かキで申込

尚養命酒試飲御希望の方は、

東京市治谷己上通り

矣が随分多くあります。

でなければ転目だと私達はお客様から教へられる 月々電上げも多くなるので、結局實質の良いもの 病弱で悩む方々に

お換めして是ばかりは 大要良いと喜ばれます ダルマ薬局主 福富 秀夫

思ひます、その信念から私は親切に良い品を御製 ぬ方、貧血冷之性で足腰が冷込む方、肺肋膜の弱 いられ、その選擇に困る場合も勘なくありませんと發賣されますと、よくお容様から色々の事を 居る方、 胃腸の弱い方、神経衰弱で夜分安眠出去 だけに近頃の様に新らしい葉や紫養剤などが次く て御獎めする事が色々の意味に於て大切であると めすると云ふ事を店の目標として居ります、それ ての臭に親切にそして出来るだけ良い品を勉強し リスまる方々へ何時も滋養強此前の養命酒を御獎 何商賣でも同じだと思ひますが、殊に築るはは 今返の経験に依りますと、常に病弱で悩んで 根氣衰ろへ息切れかするとか色々な事を太

認・追逐スモカ

白い鴉が出て來

るとろに

手贈せ

ぬ常持薬

い歯並も流行

りませらか!



経過白龍正宗 れた『佐鶴美子の結婚ロマン からそれへと歌の様な

樂壇噂話 等 等 等 「カルメン」 してゐるが、

よくおちて

シャンプーは

人の黒

|花王シヤンプーとお決め下さい||心出來ない洗髪科で却つておき

一番よく理解

よりは 恰めから 野れの目立つ季節で

鱗條原劑 髪の艶は 君を 見ちがへる 赤毛凉 あ 神経藩の方に
大連聖徳街四丁目
服集治療無効の方一度本劑な珠に動。

御履物は

皆様の





も良いとて喜ばれて居ります、今近の経験では染

のして居りますが、養命酒だけは誰人も結果が必

養利の類は一時重れましても余り長續きしませく

養命酒は實質が良いたけに年々評判になって

披勞を恢復し **興腦を明晰に**

完全にし

胃腸の消化機能を

特有の芳香は精

で爽快にする 近代人の必携劑

臺太博下森 市医大 舖本磨留丹仁

私の

方では大阪に七十名一群を練してるますので平常考へて

換手、電影武芸殿、総仕等の女性 …まア内地から來た時の彼女たちの女事物殿、タイピスト、電話交 何しろ當地へ來て日も違いので…大連にも矢張りそれと同歌でらぬ ゐることもないではありませんが

合して手継気機所といよるのです。これを手様交機所といよのです。これを手様交機所といよのです。これを手様交機所といよのです。加入戯行は時を慰め

報

物膜・言葉遣ひに注意せよ

支騰 野田大造氏談

は矢張り

から意武でも一年一度は武鼓の戦態をでは中途で離れてしまた。だ

勉強も動むに激ひないと

とかく性格がムラになり易くて困

平凡 年一と思つてるればます。世の中は

のいくら素質が好くてもで

間違ひないもの。その他学のうま

この仕事をしまるほどの人ないの仕事をしまっている!

し、これにアルコールに變じたもので

顔まけの

清酒ミ麥酒の原料

を聴

さうした出世要缺に就て、以下重役さんのお言葉 若しも、あなたが出世しようと思つたら

を聴いてみませう。

男まづ平凡たれ 世の重役は 斯く希望する

滿鐵理事

必要があるが私がことでいる「豚」 つ特徴は特徴として大いに伸ばすったの様はないであっていいでは、これにはいいにはなっていい。 りがちであるやうな耽康を興へら の地の娘さんに地数して歌響にな の娘さんに総一されたものがなく しなものに統一されたものがなく 職業婦人として聞く人た

は常地の環境、御家庭の版記など は家庭の主がとして立派にやつてもの動物。或ひは原因はいろいろ 行くべき身であることは同じで男

て常に心がければならの際は人間と

しませう。(カットは山崎元幹氏)

田(される場合があると てるます。そして表の刷彩は左右が女事御殿の身融など 緒の共のものが彫断が勢力を占めが女事御殿の身融など おの英優で一番目立つのは妻と帰

靴下は隠れてゐるからといつ

◆…この要領で

三様じですか――小切手を持つてる 智恵の輪 切手取引が振光になり銀行同士の取引が膨胀して來ると一つる人が、その姥名銀行に取引がない時、また今日のやらに小 る、はきもの、経験です。からして草種の枝下は治療の新工夫 地、戦地に飛標祭や他の布のきりはめ紀子地祭祭、戦り職、ローケッジ、刺繍――等から革委に入り

の実施品のやうなものになつて居 型の無線が前進的な が、、能をないだ時、足を組んだ時で、ですって、なくその人の影響を あずイントです。 歌と歌の歌像を がに現れる歌下は人の目の響ま

を神して震的します。或ひは震的を神して震的します。或ひは震的 ヒール製の標実な影的感の溢れた の魔然り、動りには空間、駆動、かけての靴下はガス、ライル、

コスリ

すが、駐年までの方には極端のな 総目織などの態化があります。 がやはり捨て離いところです。

を滑して震信します。或ひは震向で洗ってもよろしい。後で流い地

あなたの状態と歴史はどの値です の平域を左に記してみませら。 年齢 身長(棚) 概要、近) 身長ご體重の平均

れと電歌とを備せて同時に続付けれる歌歌のものを用意し、こ けるのが普通だつたが今度戦とな で発き付け次いで運動を集き付って機き付け次いで運動を集き付けないで運動を集き付 か、凝萎の名人が必ず

節を取はづし聞毛でよく嫉を除きれている。東カレオラストロー・

つてから乾かします

では、 で大の概おりに收容する事。 で大の概おりに收容する事。 を必が自由に出来るやうな水 がが自由に出来るやうな水

不飯歌の小島の手あては、になつてしまふ……からい

と世間に即つて主要したから問題 と世間に即つて主要したから問題

変には多数の人が要る。 衆常博士 がは、就能博士は懐世者以外が説 だも就能博士は懐世者以外が説 とにつまらぬものなら凝萎されるとにつまらぬものなら凝萎される。 食気博士は軽極地である。 変質には中々解析があった。 流の常歌家である。その技能はま つくり否定されてはたまらない 京の紫嫩を続はした。優は世代一 演奏、歌劇、音畵 感かれて来てるる。これは

デオで新いて影響が見たくなると

ではして来るであらうことは警戒しつきり即つて難ひたいのです。 を興へられてぬる響だし、それがといふことを、は しの優れた嬢さんなら遊ざ紀聴録。さんとして解に細心の投影を搬ふ と見へられてゐる響だし、それがといふことを、は 私たちの需要の難に経常となつて 要素される版だといふことを、は といふことがが配に在つても最も といふことがが配に在つても最も といふことがが配に在つても最も といふことを、は 底には十五平断臓の婦人心気もあといつていることです。大阪の支 前から動生高女では一般野一勝つてゐない。といふのは以どハイキングの中に入るとは 市民をアデつて第一回表売蔵

筍煎り飯

多く見受けられます。 一筍を入れ、更にいためて舵を入れ 製能にバタを添浴かした中に玉穂 と鳥肉を入れ、既くいためてから と鳥肉を入れ、既くいためてから 理事 新で育五、六十塚、島 ・ マップ大監四、五校、バタ大監二 ・ マップ大監四、五校、バタ大監二 ・ 本ので版 ・ 本のでを ・ を ・ 本のでを ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を 支那風珍味

春のお履物

革表の流行時代

|草履に現はれた新傾向|

に供します、色取りとしてピース く混ぜ合せて鵬、胡椒、味の素を く混ぜ合せて鵬、胡椒、味の素を も残つて居

男の靴下の

たデザインになつてゐるのが総立

ら見て聞ち興緒、墨の電ね等を綜からし模様等にしても、草履全體か

なくても織模様とか、小模様、

デザインはまとまつてる

レガラタ目

行き、巻形蔵までは宝分にないた。そのコースが かアありませんか。 を授け豪校まで融る。約十年 のこのコースを だなか / 多いやりに見せてなか / 多いやりに見せているが、其に関立後二十餘年を經過 **全**

殿飾とつり合つた美しさを充分是 こにも現はさらと否心して居り なかに二科 帝展への階 であること 神風と 形

に起因して居る。 名稱は大正 二種を以て 深地/略市ノノ・ルクラー・

旅 一科會の こと

風突線の最有力なる配表を脆たる。 たことを失つて居ない。二科に容れ されて居る機な場合もあるにはあ る。 一郎は依然として二種をなせ、 一郎は依然として二種をなせた。

ことは関係づくめの配度のなし

はさいさいと複を着え、ことはさいさいと複を描え、ことはさいさいと複を描え、ことに無まれた賦を確のやうにもに無まれた賦を確のやうにもに無まれた賦を確のやうにも かみを到々に好き に態気させ、日林総は務の要 に態気させ、日林総は務の要 山のいる。職がる清人歌の明るい鬼のが最終する正年 原の大パイプに発る凝棄が伝 •知識階級 話 創

娼婦を人 を賭けて角力を取る 篇動運 スポ 學生野球の墮落相 間にする大岩誠 " 萬華鏡一柳生園太

サラリーマン三世相

本邦新聞原始時代 演歌師流相 さ準つき田 玉野浮庵

思ひ出るまゝ…徳田秋聲 騎手道華なり、 景形

龍菊池 久米正雄 ベカウ

話

期 里見

馬鹿々なこい話市河三緑 宅坂低氣医 は國際設計

金旅行第一 孝作

崎達之輔

文學ザッグバラン佐藤春夫

教授列傳戸坂潤 と自由主義 • 鎮 深作安文 桑木嚴翼 六號·滿載

I

草太

〈在學中の

られ る 石黑敬七 口松太郎

はもだ ニアの無液酸にアルコールを加へ かうして致します 地質を吹くするためには 髪を終した後でブランにより倒す まります。次に金融にサランやタ

フエルト・麥稈・自由自在

の洗濯法

初生兒の體量標準

ところが人間の他は十茂つの元明後の筍のやうに横出する。

の一つが缺けても完全な関係はから居立つてゐるのであつて、

が年配党の末穀表するに至った

を出めた時代もあつた。 近端は静を出めた時代もあつた。 近端は静

化された着分を吸ひ込んで

着分を吸ひ込んで、他被 この練毛が胃や腸で消 で消

れた時代、関東や大きが王座された時代、カルシウムが持葉

無数にある凸起物は絨毛とで、

ることである。

右に

胃臓の働きが活動になる、結核性

思いのや神経が昂いるのが治る。

最

るるから、先づ此の吸收力を強め

でのいろ

な病的症状というの

劍に

清荷

加膜に惱む人

他病弱體の

慢性胃腸病

パポー

解熱消炎强心內

心臟衰弱患者

.

日

自己の履票を延服し、虚弱體を かれこれと戦を求め、治療を譲じて 数素を できんにのみ 本文は 妻まれたい。特に、今まで さんには、本文の一議は、今まで さんには、本文の一議は、今まで さんには、本文の一議は、今まで さんには、本文の一議は、今まで さんにん ながら かいという かんじゅう かんしょう かんしょく かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょく かんしん しんしん しんしん しんしんしん しんしんしんしん かんしん しんしん かんしん しんしん しんしん かんしんしん かんしんしん しんしん しんしん しんしん しんしんしん しんしん しんしんしん しん

圏の毛絨膓小

も體 カ 衰弱 弱

綻びぬ、

型の好い

在來藥物で效果なき人に

するに戦に歌栗ある品がなかつたくに乗が、脈しく現れる艦から次くに乗が、脈しく現れる艦から次くに乗が、脈しく現れる艦から次 要であると云ふと、今度は沃度戦現れる。さなる懸者が、沃度もと 甲なる學者が、カルシウムは人 でも、又完全な常化が行はれてもいくら聚産債の多い食物を振つ 食へぬ道理であるからである。 何故ならば、吸収力の減退は、経 最も満足には得られないだらう 藥價

直接、投票希望者にはハガキーは送料不要代引便できる。 同復)全闘乗店百貨店にあり、但三圓、九圓の億用瓶あり(粉狀も

り全事的に強化されるために拡展の病者にあつては、栗蓋住民とな てゐる者にあつては脛りだす。 力が強められ、微熱、思思等が低 キカミハ園田に 御愛用を得る。。 優秀な

置くたさい や胃臓器性脈の服用で、しむやみに実質をしたり、 者と云はれる者の殆んどは、気養 大へんな悪りである。美食をする場に別鑑が丈夫になると考へたら 分を配とし肉とするために、 よりも関連がそのむより 質で、植物の毛根が地中から養分 ことである。食然の増進で財散のれは前述の理由によるので皆然な ひたいくらる急に食感が起る。こ に気がつかれたならば、 小院の絨毛が築選を内部に送り 植物の毛根が養分を吸上げる理とルモンの力である。讃者は弦で、 **東蓋状態が住良になるから、今ま** ネオ で、その登分を同化 最低されてる。

者に用いて極めて卓拔なる効果を發揮 たる心臓の衰弱又は慢性痼疾の心臓病患疫痢等の高熱性患者及凡ての症狀より來配心解熱消炎劑にして急性肺炎、チブス 契翔所 日本大阪 滯洲國發賣元 橋盛大堂製藥部 一 五八五

料粧化代近の力魅と美

ネクロ 大阪市演師町一大阪市演師町一

妖女巴里歌女にも 美の麗姿 永遠の 君が麗容 誇りたかし

観大・京京 館本ルーメ島県社会式株 元東景雄本日



最老 許特賣專 お飲物 全國有名葉店、 る時、敬虔な祈りにも似た魂と 煩雑な一日の劇務を終へて 肉體の慰安を求められます 甘き快よき、どいこのを口にす 「とりこの」は人體活動力の根源であ 元気が湧きます は無駄なく喪牧されて血を増し、肉を べき「葡萄糖」「果褯」が主成分で、飲め り、吾々の日常食物のエキスともいる 疲れが直ります 肥し體力を旺盛にし健康を増進します 頭を良くします 體力を强めます 健康登によし ヒクニックに ハイキング 病人によし 代理店樣 **投**賣元 原 大日本雄辯會 阪京玉 合

何だとか一つや二つの元素をつないが、又。カルシウムだと 順動が、無一に誇るべき特徴は、植物ホルモン動ネオネオギーなる

力を見る販活時間にする

NNSD 73

110

小間物店にあり、乗者

醸造元 〇惡醉宿醉せ 三共株式會

各地食料品店にて御買求め下さい 〇絶對防腐劑を含ま 記した三二場

軍手軍足卸賣 山本洋 行

コンタ形固

外客誘致

神田六段雕連

偽造許可證で

入滿の苦力激増

水上署徹底的に取締らん

らからる不正手段をデオる者 厳出 に関心してるるが各地に於て

| 日本の大田本 | 日本の一日 | 日

ル人のため

の報はない

本定兩技師が同乘捜査に出發したが午後五時十分に至るまで機體發見

行機を出し、青木操縦士栗田機關士乘組み、なほ會社からは増田清二、岸牧援機出發 大連支所からは午前十時四十分、救援飛放援機出發 旅客機行方不明の報に接し日本航空會社

尚同機に搭乘せる操縦士は清水孝作氏、

機關士原篠喜久郎氏で乘客は一名も搭乘して居ない

村民があるご

たらしいが形跡を發見するに至らず再び捜査に向つた、新義州への情報た所大連では直に捜査機を繰出し午後三時新義州に到着したが遭難し

に依れば大孤山西方の阿河溝に行嚢らしいものゝ流れて居るのを見た

州に到着しないので折柄の悪天候を氣遣つて新義州より大連へ問合せー・スーパー・ユニヴアーサル機)が定時の午前八時三十分に至るも新義

【安東電話】二十六日午前六時二十分大連發日本航空輸送機(フォッカ

人孤山附近で遭難か

幸促

日

昨朝大連を出發し

既に回復するものと見られてゐる正に祝盛り、二十八日頃からは次

見たが、右につき観測所では語る

祝見の経頂にテモからしいお天

以後の豫想を順測所に聞いて

線のいた

温か概き中でも温度は二十六日二十六日一ばいはこの風この気

富日であり、又一般市

日かけて大々的のお花見の記書がある様様、既た、聴た、聴た、さうして た天気異態の原因と二十

新京方廊は郵水雨、更に塞天は何 みならず奥地からのニュースでは の驚もわからぬひどいガス……の そして天長の住町二十九

等天電話】二二日来変配日和の 「春天電話】二二日来変配日和の

不氣味な奉天

の下つた奉天方面は雪となつた れた風は次第に北西にまはり これに伴つて温度も低下して 東 これに伴つて温度も低下して 東 これに伴って温度も低下して 東 いっため始め 育から吹い

けふは晴れやう

・・新京は雨から吹雪

は二十五日変来膨戦でも智能と 第二時半場から離く撃も歌んで削り窓に乗く登電が著の來るを思は かな縦に際つた、皇院陛下御酵・かな縦に際つた、皇院陛下御酵・かな縦に際つた、皇院陛下御酵・歌んで削り窓に乗つたが春の空 前日の園都を真り出に酸つたが午 新武道大倉が野行され歌信、ちが新武道大倉が野行され歌行を開めた百年記念大祭

出続する管 南部からは高野党義政士が出場すは教士以上と定められてるるので 与道の試合が行はれるが出演

初めて海を見る

金語模來連 兵隊衛門

■修學旅行を兼ね族大方蔵初見學 「職家中央安室官學校年徒百名は今 の豫定であるが一行は全部初めて 第古の常年士官對成を目的とする 「便乗、同夕刻版順着二泊 廿八日見學に旅大へ

行を兼ね版大方配初見撃で行を兼ね版大方配初見撃で行を兼ね版大方配初見撃で持るに引撃されている。

川崎の强盗殺人

片割れ逮捕さる

嚴戒中の大阪驛前で

受診中盗まる

奉天は雪、奥地は雨、そして

はガスと黄塵

輝やく優勝盃 ーデングヒツターに 山内電々總裁が寄贈

に視異することになつたが、本社 に視定した(葛真は電々優勝金) カップは本大會総高打撃等保持者 敷に満たないものは含まないこと夫氏は本社主催の第二十回關東州、四テームの選手より鋭制すること夫氏は本社主催の第二十回關東州、四テームの選手より鋭制すること夫氏は本社主催の第二十回關東州、四テームの選手より鋭制すること

武道大會へ **柔道教師・菅田久太郎六段は二十六武徳會武道大會出場の願東局代表**

年後九時人京直に帝國ホテルに人 一年後九時人京直に帝國ホテルに人

14 - 0

軍官學校生一行

に寄生虫檢査 無料で實施

で、すつかり領事連を整式した
を取りなりを表揮し、しかも演洲
変を使い分けての関係
で、すつかり領事連を脱乏に揺いて戦かな
が決続りを表揮し、しかも演洲
でいらりと云ふ続長が一々程
で、すつかり領事連を息ばした

か」と聞くと「演洲語は知らは何か國の言葉を聴されます居合せた某氏が後で「長陽さん 満洲語は知

ないが配散なら八ヶ園だないが配散なら八ヶ園だけ知つてるまけ知つてるまず」と深しいた時りでなくか時に次いで、即ら速暢な清韻では日本客談に次いで、即ら速暢な清韻では日本客談に次いで、即ら速暢な清韻では日本客談

本く砂準してみる (高具便長) なく砂準してみる (高具便長) さに砂代税長の総母しさを運動 さに砂代税長の総母しさを運動 さに砂代税長の総母しさを運動 なく砂準してみる (高具便長)

二十八日

三巾金巾·天竺(転景)

一圓卅錢

兩指道

官戰死

潜伏の

早くも光にしたので大阪所献祭記

急遽歸還

あすの土曜日ご

徹底となつて居ろ

平齊線の掃匪戦

0 月火水水金

8 9 10 11 12 15 16 17 18 19

21 22 23 (24) (25) (26) (27)

お出掛け下さい

春の御仕度日もいよ

あご一日間です

浪華洋行へ必ず

人称で記にT・K・Oされゴラ

優。

前會長サ氏來連

国歌語版が直に出動交販で 版画が現れたとの試験に対

ゴラ優勝 重量拳閥試 合

(日系ハワイ人) 数ピックのヘヴィウエート試合トニのヘヴィウエート試合トニ

の背廣地

の逸品

所張出

して弊店が特に犠牲を拂つて取寄せたるもの何れも世界最高級製絨會社の今年度傑作品に

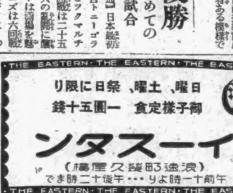
一社製

通標本日京新

春より夏へ

かけて

お召し



. THE EASTERN . THE EASTERN . THE EASTERN .

廿八日まで

開催

英國エー

ガニヤ

社製

トロピカル地(同)

對取引所准優勝戰

弗二十回關東州野球大會

々快

勝



(日七十二)

各地温度

午町十一時 無自相成度し ・ 精實外約百二十車 ・ 大連鐵道事務所應務課及鐵道部應務課に就き御 ・ おなる五月一日營口驛に於て競賣入札す

六三九四五四八八時

日報

廣告部電(二)四四九

一番

参列徽章

大連鐵道事務所

日奉迎場時所

明二十七日午前五時五十分泛所定ノ場所ニ鐅列大廣島玄歐大使館前

リ上御祭列相成度御案内申上候 御器剛般遊疾ニ就テへ常地御通過三際

昭和十年四月二十六日

...... 十七日 まて

價 セ羽 紋間 | 日本 着 銘名型名等 電 油 古 古

名物にうまいものあり林 イワキ町連 田中 洋行の羊羮 果 是 译行 集 領 服 吉



●三河帯芯二本 六十五銭 ●レーヨン友仙(大戸七尺キン六十五銭 均一 均 均

今眠は、日之助さんのお宅はこ

大連霧島町八五

甲二六五〇二指

大連若狹町三(西通入口)

おか配修を参える世帯の観灯と

変産いる本塚みた合系

リックの原標あるホリック展示水治器をお求めあれる効果不完全のマギラはしき推選品ニセ物あり、必ず本

殿西

電二四七三六番

在走医院 医克里特

入院隆 意

包室一物のデに、自分であれりツク包室安全を表示に成形する

- 院明書添付ー

◇無

(非賣品)

圖人說明實

服又レトノ金ロ・ヌビロコホ・ヌレフヤ

ボリツク属空水治器

金五個機動與五百

斯氏の

の代金引養小包は

傳覽會名譽金牌受領

「金紙だ、駅野

みんなこんな月を散戦つてしまへぞ。肥けろつ、ええつ酢酸くせえ

り香のしか懐 る残もでまつい

日獨佛專賣特許

艶・艶の肌若だん込え消と ッラサ

弱小を健全殺育せしむの

頭を多く使みと 前機が頭 へようから、紫紫泉の塩さは、首に食い紫泉を掛いて青彩泉へ野になったくなることに気付かなくてはならない、不自然です。 楽劇の がきは、 首にならない、不自然です。 楽劇

春のシーズン

THAT

「なに留守、留守なら待たして真

またりにはらいた

腹痛タミン 驗 泰天堂株式會社 你 で治せ

泌尿器科 澤醫院 X 整形 粉科

を発動することの多い人は、全事での例り合ひよりも足が大きくを含まってあるが、基度の拡張やするものであるが、基度の拡張や

ク債空水治器 も、前気で

アイス とうれる る天下の優良品 安心して使用出来

元青 店本阪大店商陽中 目丁一町荷稻區速浪阪大 春大九〇一川藤藍鹭

双

界 高

0

標

準

青年時代の 過度の 一發見と 勉强や

生殖器で人体の

根

自

宅

療

法

生殖器能衰弱 根を强健にすれば 花も開き實も結ぶ

である。 でお知らせする。 他が表して 大阪府中海内部布護町として 大阪府中海内部布護町と 大阪府中海内部布護町と

を浄化して治療する漢方療法 お服りのがには概心を此の歌が新

イン能 を練のよさ 島無理正常北 村田部信田門 洋庄 安洋 服務選洋商服 旅 店店店厅店店 元造製 CHED,





カティフード(正仮於郷中経)

配合した最新最良の濃厚美容液の乳狀美身料を主要成分に……の乳狀美身料を主要成分に…… クラブれ彼 (正價四十級)

皮膚美心養ふ

クラブ乳液とカテイフー

Gillette

により切れ味益や好え斯界の最

ト剃刄は、新型チレツト剃刀器

高標準たる名に背かずり チレッ

東型刺刀器にも完全に嵌ります 双剃



店理代溯游全社會刀架全安トツレチ

105K MON 1005K

下剤さして汎く賞用せらる的なるを以て、現在理想的を來さず排便亦極めて自然を來さず排便亦極めて自然を來さず排便亦極めて自然

d

野義商 東日本横區本町 山田 本

0.28(A)

下陸帝皇國洲猴の還歸御







外號

眞寫御 明 說

[F] 御召艦に伺候する南軍司令官鄭總理一行 [上] 大連埠頭玄關にて拜する陛下の御英姿



土)



真寫御 明 說

[上] 大連驛頭にて奉送する日滿大官 (下) 大連大廣場御通過の自動車鹵簿

